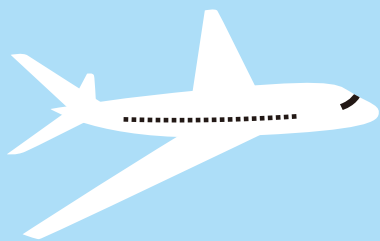


東北大学生のための 国際交流ガイドブック

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2017



世界中が、キャンパスだ！



国際交流と 留学のすすめ

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2017



Index

- 03** 東北大学からの留学
大学間学術交流協定校・機関／海外留学プログラム／留学までのロードマップ
- 09** 海外研修（スタディアブロードプログラム／SAP）
プログラム概要／実施予定プログラム一覧／体験レポート
- 13** 交換留学プログラム
プログラム概要／主な派遣先大学＆派遣条件等詳細一覧／体験レポート
- 21** 大学院生派遣プログラム
プログラム概要／体験レポート
- 26** 学部・研究科主催のプログラム
プログラム概要／プログラム一覧
- 27** 海外体験プログラム／ショートプログラム
プログラム概要／プログラム一覧／体験レポート
- 29** 留学のための各種サポート
留学相談・情報収集／語学学習・試験
- 35** 学内で国際交流
海外からの学生との交流／東北大生による国際交流活動団体
- 37** 国際交流・留学サポート
奨学金情報／学内のサポートオフィス

東北から世界各国に広がる協定校ネットワーク。

東北大学では、数多くの世界トップレベル大学・機関との間に「学生交流協定」を締結し、本学独自のグローバルネットワークを構築しています。グローバルラーニングセンターでは、そのネットワークを活かし、さまざまな海外留学プログラムを展開し、海外で学ぶことができる体制を整えています。

大学間学術交流協定機関

35の国と地域、**211**大学・機関 (2017年1月現在)

欧州地域

フィンランド

アアルト大学
オウル大学
タンペレ工科大学
トゥルク大学

スウェーデン

ウーメオ大学
スウェーデン王立工科大学
ウプサラ大学
ストックホルム大学
チャルマース工科大学

イギリス

ヨーク大学
シェフィールド大学

オランダ

グローニンゲン大学
トゥウェンテ大学
デルフト工科大学

イタリア

フィレンツェ大学
トリノ工科大学
ナポリ大学
ペローナ大学
ミラノ工科大学

スイス

スイス連邦工科大学(2校)
・ローザンヌ校
・チューリッヒ校
ジュネーブ大学

オーストリア

ウィーン大学
Ge4 - Global Education: Exchanges
for Engineers and Entrepreneurs

ドイツ

アーヘン工科大学
ドルトムント工科大学
ザールラント大学
ダルムシュタット工科大学
ゲッティンゲン大学
ドレスデン工科大学
ベルリン工科大学
ミュンヘン工科大学
カールスルーエ工科大学
カイザースラウテルン工科大学
ハイデルベルク大学
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ
パダボーン大学
ケムニッツ工科大学

フランス

ピエール・マリー・キュリー大学
レンヌ第2大学
グルノーブル・アルプ大学連合
ストラスブール大学
レンヌ第1大学
国立応用科学院リヨン校
ボルドー大学
国立中央理工科学校(Ecole Centrale)(5校)
・リール校 ・ナント校
・リヨン校 ・パリ校
・マルセイユ校
アルピニエ大学
リヨン政治学院
リヨン高等師範学校
リヨン第2大学
コンピエヌ工科大学
サンティエヌ国立高等鉱山学校
ボルドー工科大学

スペイン

グラナダ大学
バリアドリッド大学

チェコ

チェコ工科大学ブラハ校

中近東地域

トルコ

イスタンブール工科大学

イラン

テヘラン大学

NIS地域

ロシア

モスクワ国立大学
ノボシビルスク国立大学
ニジェゴロド国立大学
極東連邦大学
ロシア国立高等経済学院(HSE)
サンクトペテルブルク国立総合大学

ウクライナ

ウクライナ国立工業大学“キエフ工科大学”

アフリカ地域

モロッコ

ムハンマド5世大学-ラバト

南アフリカ共和国

クワズールー・ナタール大学
ヨハネスブルグ大学

北米地域

カナダ

ウォータールー大学
オタワ大学
クイーンズ大学

アメリカ

ペンシルベニア州立大学
カリフォルニア大学(10校)
・パークレー校
・デビス校
・アーヴァイン校
・ロサンゼルス校
・マーセド校
・リバーサイド校
・サンディエゴ校
・サンフランシスコ校
・サンタバーバラ校
・サンタクルス校

パデュー大学
アラスカ大学
コロラド鉱山大学
シラキューズ大学
国際教育協会(IIE)
テンブル大学
テキサスA&M大学
ハワイ大学マノア校
ニューヨーク州立大学オールバニー校
ワシントン大学
ノースカロライナ大学シャーロット校
ケースウェスタンリザーブ大学
ミシガン州立大学
メリーランド大学カレッジパーク校
モンタナ大学

中南米地域

ベネズエラ

シモン・ボリバル大学

太平洋地域

オーストラリア

シドニー大学
ニューサウスウェールズ大学
オーストラリア国立大学
メルボルン大学

ニュージーランド

オークランド大学

アジア地域

インド

インド工科大学ボンベイ校
インド科学大学

タイ

アジア工科大学院
スラナリー工科大学
キングモンクット工科大学ラカパン校
チュラロンコーン大学
タマサート大学
チェンマイ大学
キングモンクット工科大学トンブリ校
泰日工業大学

シンガポール

シンガポール国立大学

インドネシア

インドネシア大学
ガジャマダ大学
バンドン工科大学
ボゴール農科大学
ブラウイジャヤ大学

韓国

全北大学校
ソウル大学校
光州科学技術院
釜慶大学校
浦項工科大学校
韓国科学技術院
忠南大学校
慶北大学校
嶺南大学校
東義大学校
朝鮮大学校
高麗大学校
国立昌原大学校
西江大学校
延世大学校
釜山大学校
国立公州大学校
中央大学校
慶熙大学校
成均館大学校
国民大学校
韓国科学技術研究院

モンゴル

モンゴル科学技術大学

スリランカ

モラトゥワ大学

ベトナム

ベトナム国立大学ハノイ校
貿易大学
ホーチミン市工科大学

中国

東北大学
中国科学技術大学
清華大学
南京大学
北京大学
吉林大学
浙江大学
復旦大学
武漢理工大学
重慶大学
同済大学
中国海洋大学
北京科技大学
南京航空航天大学
廈門大学
華中科技大学
西安交通大学
華東師範大学
北京航空航天大学
蘭州大学
天津大学
大連理工大学
揚州大学
東南大学
上海交通大学
北京工業大学
北京郵電大学
香港科技大学
上海海洋大学
中国地質大学(武漢)
香港城市大学
東北財経大学
上海大学

台湾

国立台湾大学
国立台湾海洋大学
国立中正大学
国立成功大学
国立交通大学
国立中興大学
国立清華大学
国立政治大学
東呉大学
国立中央大学

マレーシア

マラヤ大学

部局間交流協定機関 **58の国と地域・445機関** (2017年1月現在) ※協定機関の詳細はホームページをご覧ください。

・学術交流協定機関一覧:東北大学HP ▶ 国際交流 ▶ 学術交流協定締結校 <http://ie.bureau.tohoku.ac.jp/partners>

※本ガイドブックでは、一部の国・地域について、一般的に使われている呼称と旗を慣習に従って使用しています。

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

シヨトウプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

学びの目的や期間など、
希望に合わせて選べる
多様な海外研修・
留学プログラムがあります。



海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP) ▶ P09-12

海外に行くのが初めての方、長期留学をためらっている方、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身につけておきたい方、専門分野を海外で学びたい方などのさまざまな要望に応えるプログラムです。学期末の休みを利用した短期間の研修ですので、授業への影響や留年の心配はありません。内容はプログラムによって異なりますが、現地学生や留学生との交流なども盛り込んでおり、学期末の休みを有効に使うことができます。

派遣地域・大学	アメリカ、カナダ、イギリス、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドなどの教育機関
期間	3~5週間(夏・春)
参加対象	全学部・研究科の学生(学部生優先)

大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム ▶ P13-20

SAP、海外体験プログラムを経験し、より長期にわたる留学を目指す方や、語学学習だけでなく、自分の専門について海外の大学で学びたい方向けの海外留学制度です。留学先は、世界中の協定校から選ぶことができます。

派遣地域・大学	35の国と地域211校(▶P03-04)
期間	1学期~1年間
参加対象	全学部・研究科の学生

COLABS(自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム) ▶ P21-22

自然科学系の研究科に所属する大学院生(または進学見込みの学部生)で、海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたいなど、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。留学期間は、最短10日間から、最長1年間までです。大学院での研究スケジュールにあわせて時期や期間、留学先を選ぶことができます。

派遣地域・大学	主に大学間協定機関または部局間協定機関
期間	10日~1年間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む (6年制課程の学部については5年生以上)

COLABS特別プログラム ▶ P21

ワシントン大学で行われる特別プログラムです。派遣先大学の教員から自身の研究成果について指導・助言を受けながら、学術的な場で発表に錬成するワークショップを中心に、現地学生との交流、企業訪問などを含めた文化交流も行います。このワークショップを核とした研究交流は、将来の共同研究やより長期の共同研究留学などに発展する可能性があります。

派遣地域・大学	アメリカ ワシントン大学
期間	2週間
参加対象	自然科学系研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む (6年制課程の学部については4年生以上)

自然科学系研究科

理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科



ダブルディグリー(共同教育)プログラム ▶ P23-24

ダブルディグリー(共同教育)プログラムは、フランス、スウェーデン、または中国のトップクラスの提携校と本学に在籍し、提携校における修士レベルの学位および本学の修士号の取得を目指すプログラムです。理工系の分野で、国際的環境のもと、研究者としての力や国際性を伸ばすことが期待できます。

派遣地域・大学	フランス	国立中央理工科学校(Ecole Centrale)5校 国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)
	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学
	中国	清華大学
期間	1年半程度	
参加対象	一部の自然科学系研究科の 博士前期課程に進学予定の学生 (派遣先により派遣時期、対象学部・学科が異なる)	

上海交通大学との Fostering of Global Human Resources プログラム

大学院学生を対象とした、中国でもトップクラスの上海交通大学に交換留学または学位留学するプログラムです。専門知識や研究能力だけでなく、世界の中心となりつつあるアジアにおいて活動する総合的な力の養成が期待できます。本プログラムの参加者には留学期間中、上海交通大学から奨学金が支給されます。

派遣地域・大学	中国 上海交通大学
期間	交換留学:1学期~1年間 学位留学:2~3年
参加対象	全研究科の大学院生

UCB大学院生プログラム ▶ P25

研究・教育ともに世界トップレベルであるカリフォルニア大学バークレー校(UCB)への大学院生向けプログラムです。UCBの研究室で、研究活動や論文執筆を行うことが可能です。海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたいなど、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。

派遣地域・大学	アメリカ カリフォルニア大学バークレー校
期間	1学期~1年間
参加対象	全研究科の大学院生 ※進学見込みの学部4年生を含む

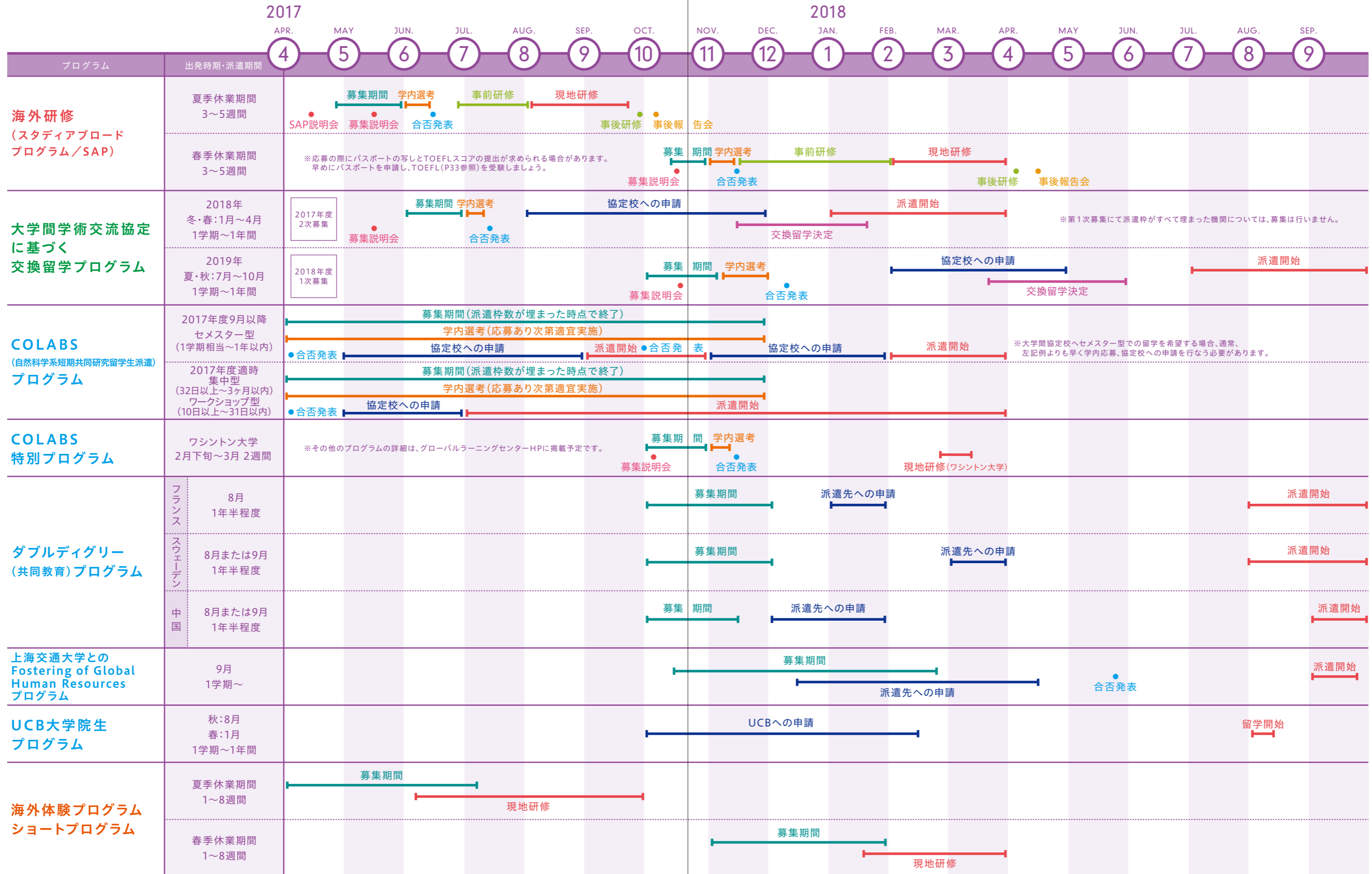
学部・研究科主催のプログラム ▶ P26

海外体験プログラム/ショートプログラム ▶ P27-28

半年や1年間の留学は難しいという方には、本学または協定校等が主催する海外体験プログラム、ショートプログラムがおすすめです。さまざまなプログラムの中から、自分にぴったりのものを見つけてください。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした世界各国の大学
期間	海外体験プログラム:2週間程度以上 ショートプログラム:1~8週間程度
参加対象	プログラムにより異なる

希望のプログラムが見つかったら、さっそく準備を始めましょう。



東北大学からの留学
海外研修(SAP)
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
海外体験プログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート

海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)

スタディアブロードプログラム(SAP)は、長期休業(春・夏)を利用して、語学力を磨き、アカデミックスキルを高めることを目的とした海外研修プログラムです。参加学生は、プログラムのテーマに沿った体験学習や、特色ある英語講座に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに現地学生やコミュニティーメンバーとの交流、ホームステイなど、日本では得られない貴重な体験を通じて、語学の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を育むことが期待できます。

2017年度実施予定プログラム一覧

海外初心者向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	難易度	研修内容
カリフォルニアで学ぶ多文化・多民族社会	【アメリカ】 カリフォルニア大学 リバーサイド校(UCR)	夏 および 春 【4週間】	ホーム ステイ	☆ ★	●様々な文化が混在するカリフォルニア・ロサンゼルス近郊(リバーサイド)での研修 ●実践的な英語研修及びテーマに関連する場所への豊富なサイトビジット ●現地学生との交流やホームステイを通じて異文化理解を深める
ハワイで学び体験する文化と歴史	【アメリカ】 ハワイ大学マノア校	夏 【3週間】	ホーム ステイ	☆ ★	●ハワイの文化や歴史をテーマとした講義 ●フィールドトリップ、ボランティア活動 ●ホームステイを通じた、ハワイ家庭の生活・文化体験および英語力の向上
オーストラリアで挑戦する実践英語とプロジェクト	【オーストラリア】 ニューサウス ウェールズ大学	夏 および 春 【5週間】	ホーム ステイ	☆☆☆ ★	●自身のレベルに合ったクラスで実践的な英語力を鍛える ●多様な文化背景を持つ人々の街、シドニーでホームステイ ●現地学生や地元住民との様々なプロジェクトの実施
マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化	【マレーシア】 マラヤ大学	夏 【3週間】	学生寮	☆☆☆ ★ ★★★	●実践的な英語力を身につけるための研修 ●マレーシアの歴史・社会・文化を学ぶ授業 ●現地学生および他国からのコース参加留学生との交流

テーマ学習に取り組みたい学生向けプログラム

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	難易度	研修内容
ベトナムで学ぶ文化と国際ビジネス	【ベトナム】 貿易大学	夏 【3週間】	ホテル	☆☆ ★★★	●ベトナムの社会科学系でトップクラスの大学である貿易大学での研修 ●ベトナムの産業構造や社会問題について英語で学ぶ ●日系企業訪問や文化体験、世界遺産へのフィールドトリップ
アメリカで体験する市民ボランティア	【アメリカ】 カリフォルニア大学 リバーサイド校(UCR)	夏 【3週間】	ホーム ステイ	☆☆ ★★	●砂漠や山、海に囲まれたカリフォルニア・リバーサイド市近郊におけるボランティア体験 ●実践的な語学研修とアメリカにおける環境・福祉問題についての理解を深める実地研修 ●現地学生やホストファミリーとの交流、フィールドトリップを通じて異文化理解も深める
インドネシアで学ぶ文化と国際ビジネス	【インドネシア】 インドネシア大学	春 【4週間】	専用 宿舎	☆☆ ★★★	●インドネシアの文化やビジネスを英語で学ぶ ●基礎インドネシア語の実践的講座 ●現地日系企業(イオン・インドネシア)主導によるインドネシア大生との共同インターンシップ

奨学金情報

- 月額6~8万円の奨学金(派遣先により異なる)が支給される可能性あり。
- 学部生に限り、1プログラム当たり平均20万円/名のプログラム費の一部を、東北大学が負担。

派遣地域・大学

アメリカ、カナダ、イギリス、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドなどの教育機関

期間

3~5週間(春・夏)

参加対象

全学部・研究科の学生(学部生優先)

実践的な英語力の向上を目指す学生向けプログラム(交換留学準備)

プログラム名	派遣国・大学	期間	滞在形式	難易度	研修内容
ニュージーランドで学ぶ実践英語	【ニュージーランド】 オークランド大学	夏 および春 【4~5週間】	ホーム ステイ	☆☆ ★	●自身のレベルに合ったクラスで世界各地から集まる学生と共に学ぶ ●ディスカッションやプレゼンテーションなどを取り入れた実践的な英語運用力を強化するプログラム ●オークランド大学の日本語専攻の学生やホームステイ家族など、現地の人々との交流
カリフォルニアで学ぶ実践英語	【アメリカ】 カリフォルニア大学 サンディエゴ校	春 【4週間】	短期滞在 シェア アパート	☆☆ ☆☆ ★	●カリフォルニア南部、メキシコに隣接する都市・サンディエゴの名門校での研修 ●自身のレベルに合ったクラスで多国籍の学生と共に学ぶ英語研修 ●現地学生(Conversation Leader)との会話を通したコミュニケーションスキルの向上
カナダで学ぶ実践英語	【カナダ】 サイモンフレイザー大学	春 【4週間】	ホーム ステイ	☆☆ ★	●日常的に必要なアカデミックイングリッシュスキルを強化する英語研修 ●カナダ学や異文化間コミュニケーションについて学ぶ授業 ●サイモンフレイザー大学で日本語を学ぶ学生との交流
カナダで学ぶ英語と文化体験	【カナダ】 ウォータールー大学	夏 および春 【4週間】	ホーム ステイ	☆ ★	●日常的に必要な英語力を強化するための研修 ●英語イマージョン教育を通じてカナダ文化について学ぶ授業 ●ウォータールー大学で日本語を学ぶ学生との交流
イギリスで学ぶ実践英語	【イギリス】 シェフィールド大学	春 【4週間】	ホーム ステイ	☆☆ ☆☆ ★	●自身のレベルにあったクラスで4スキル(読む、聞く、書く、話す)を集中して学ぶ英語研修 ●多国籍の学生と共に取り組む授業内および課外活動での国際交流 ●ホームステイを通じたイギリス生活・文化体験及び英語力向上
イギリスで学ぶ英語と文化 IELTS対策	【イギリス】 ヨーク大学	春 【4週間】	ホーム ステイ	☆ ★	●IELTS受験対策講座と現地でのIELTS受験 ●基礎から実践的なレベルまで高める集中英語研修 ●授業やホームステイを通じて将来役立つEmployabilityを伸ばし、イギリスの文化を体験



*難易度 ☆:英語運用力 ★:異文化適応力

※上記は平成29年2月現在の情報であり、変更の可能性があります。詳細は、5月(夏プログラム)と10月(春プログラム)にグローバルラーニングセンターHPIに掲載予定です。
※学生1人当たりの自己負担金額(渡航費、滞在費、海外旅行保険、ビザ取得料など)は、20万円から40万円程度で、プログラムにより異なります。

カナダで学ぶ英語と文化体験



派遣国 カナダ
派遣大学 ウォータールー大学
開催期間 2016年8月～9月

人や文化との出会いから
実用英語や生き抜く力を
身につけました。

工学部
学部2年(SAP参加時)
三輪 侑紀さん



SAPカナダ研修に応募したきっかけ

私はもともと留学に関心があって長期留学をしたいと考えていました。入学してSAPというプログラムを知り、長期休暇を使って海外に滞在できる上に授業料を大学が負担してくれるということに魅力を感じ、この機会を利用して自分の力を試してみようと思いSAPに応募しました。なかでもカナダ研修を選んだのは、単に以前からカナダという国に憧れがあったことだけでなく、短期間の海外滞在ならば英語により多く触れ合える英語圏の国に行きたいと考えたからです。このウォータールー大学への研修はアカデミックな英語を勉強するプログラムであり、ホームステイ等を通して実践的に英会話をする機会も多くあったので良い経験になりました。

研修で学んだこと・得たこと

授業ではディスカッションやプレゼンテーションなど英語を活かす活動を行いました。読解や聞き取りに加えて、会話レベルでの発音や速読のスキルを身につける授業もありました。授業は全てネイティブの英語で行われるのでリスニングの力が伸びたという友人がほとんどでした。私にとって最も有意義だったのは、授業外のフィールドトリップや週末旅行です。日本語が通じない中、すべて自分たちで解決しなければならないというのはとても不安でしたが、知らない土地でも生き抜く力がついたように思います。ホームステイでも会話の機会がたくさんあったので英語への抵抗感がなくなりました。そして何よりカナダで得た大きなものは友達です。現地では大学生などと触れ合う機会があって一緒に旅行したりご飯を食べたりスポーツをしたりしました。たった1ヶ月の研修でしたが一生の友達ができました。

カナダの文化

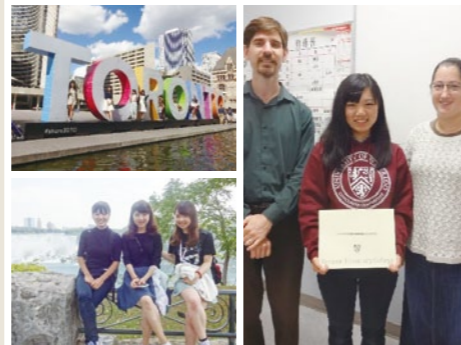
カナダは本当に多国籍な国で、たくさんの移民に会いました。トロントにも中華街やリトルイタリーがあり、カナダにいながら世界のいろいろな文化を体験しているようでした。大学には留学生もたくさんおり、世界中に友達をつくる良い機会となりました。

研修を終えて

研修自体は短い期間でしたが、この1ヶ月で感じた自分の英語力の足りなさやまた留学したいというモチベーションを無駄にせず、日本に帰国したこれからは国際力をつけていきたいと思っています。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	登校	授業	昼食	授業	買い物・遊び	夕食	団らん	シャワー	課題	就寝								



マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化



派遣国 マレーシア
派遣大学 マラヤ大学
開催期間 2016年8月～9月

踏み出した一歩で
価値観が大きく変わり、
数多くのつながりが生まれました。

経済学部
学部1年(SAP参加時)
大槻 俊介さん



SAP参加のきっかけ

高校時代にアメリカでの短期留学で受けた衝撃からもっと多くの海外経験を積みたいと思っていたこと、奨学金によりとても安く留学でき初心者向けであるというメリットがSAP(特にマレーシア)にあったことから申し込みました。

3週間のマレーシアで学んだこと

現地で多く学んだ中でも特に良かったのは大きく二つです。まず、現地の友達とたくさん話すことで宗教への関心が深まったということです。SAPに参加する前は宗教になじみがなく遠い存在のように感じていました。しかし多民族国家であるマレーシアの現地の人と仲良くなり直接会話するにつれて多くの新しい価値観を吸収でき、様々な思いで神を信仰しながら、生き生きと暮らす彼らを見て、意外にも自分との共通点があることに気づかされました。

次にグローバルイングリッシュ学習の必要性を実感したことです。現地の人たちが話す英語は、私が中高で習ったそれとは発音・アクセントなど大きく異なり、はじめは会話についていくのさえ苦勞しました。将来非ネイティブの人と英語で話す機会が多くなることを考えれば、そこをカバーできるほどの語学力向上、非言語コミュニケーションの上達に向けた早期の取り組みの必要性を実感しました。

SAPはこんな人におすすめ

海外初心者/自己の価値観を広げたい人/国内・海外問わず多くの友達が見たい人/好奇心旺盛な人/異文化理解とはなにかを知りたい人/日常生活に刺激が欲しい人/コミュニケーション力を上げたい人/心身ともに健康な人/自身と向き合いたい人

最後に

短期で英語ペラペラ...とはいきませんが、それ以外に得られたものは上記以外にもたくさんありました。言語・食事など日本と完全に異なる環境下で求められた挑戦心と行動力。そして日本全国・マレーシアに住む人たちの100以上もの新たなつながり。個人的にSAPに参加して本当に良かったと思いますし、経験者全体の9割以上もそう思っているでしょう。SAPは渡航前の徹底した現地調査、そして渡航中には現地の教員・学生の手厚い補助があるので参加するのに怖いことは何もないです。もしあなたが上記のおすすめ項目に少しでも当てはまったのなら是非トライしてみてください。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	登校	朝食	授業	昼食	授業	アフタヌーンティー	帰宅	夕食	自由時間&学生と交流	就寝								



大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

東北大学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期または1年間留学する制度です。本学の学部学生および大学院生を対象としています。東北大生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生とともに専門教育を学びます。それだけでなく、課外活動などを通じて日本にいては得られないさまざまな経験を積むことができる制度です。

Merit 01

単位互換の可能性

留学期間も休学する必要はなく、東北大学の在籍期間としてみなされます。また、留学先の大学で取得した単位を東北大学の単位として認定することも可能です。そのため、1学期または1年間にわたって留学した場合でも、留年せずに卒業できる可能性があります。

※履修予定の授業の単位互換については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

Merit 02

授業料免除

多くの大学との協定において、留学先の大学は交換留学生から授業料を徴収しないことを定めています。ただし、留学期間中も東北大学に授業料を納める必要があります。また、一部の大学では授業料を徴収されます。

学内の募集時期と応募条件(予定)

募集時期

6月と10月 ※但し、協定校への申請締切は異なります。

語学要件

応募に当たり、各協定校に語学要件の定めがある場合は学内応募の時点でその基準を満たす必要があります。定めがない場合、英語で授業を受ける予定の学生は、応募時点でTOEFL ITP500以上あることを条件とします。英語以外の言語で授業を受ける場合は、語学検定試験などにより、「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」に照らし、A2相当を取得していることを条件とします。

派遣地域・機関

35の国と地域、211大学・機関 ※学生交流協定締結機関のみ(▶P03-04)

期間

1学期～1年間

参加対象

全学部・研究科の学生

奨学金情報

各種奨学金の応募が可能(▶P37)

【申請から渡航までの流れ】

※時期は P07-08 参照

学内応募

1次募集:10月上旬～11月上旬
2次募集:6月上旬～6月下旬

学内選考

1次:書類選考
2次:面接選考

留学内定

オリエンテーション

参加必須

留学先への申請

受入許可を取得

渡航準備

査証取得、海外旅行保険加入など

留学開始(渡航)



主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧

〈北米〉

 カナダ オタワ大学 University of Ottawa	指導言語 英語・フランス語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月	語学条件 TOEFL iBT 86, IELTS 6.5	
 カナダ クイーンズ大学 Queen's University	指導言語 英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月 ③5月～8月	語学条件 TOEFL iBT 88 (Writing 24, Writing 22, Speaking 22, Reading 20), IELTS 6.5	
 アメリカ カリフォルニア大学 University of California	指導言語 英語	学年暦 バークレー校、マーセド校:①8月～12月 ②1月～5月 その他:①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月	語学条件 デイビス校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 7.0 ロサンゼルス校、サンディエゴ校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 83, IELTS 7.0 その他:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 6.5	
 アメリカ パデュー大学 Purdue University	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 80(各20), IELTS 6.5(各6.0)	成績条件 GPA3.0
 アメリカ アラスカ大学 University of Alaska	指導言語 英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 70 (65以上で応募は可能だが、集中英語授業科目を一つ受講する必要がある)	
 アメリカ コロラド鉱山大学 Colorado School of Mines	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 79, IELTS 6.5, TOEFL ITP550	成績条件 GPA2.8
 アメリカ ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 68, ITP 520, IELTS 6.0 ※大学院はITPの使用不可	成績条件 GPA2.5(院:3.0)
 アメリカ ワシントン大学 The University of Washington	指導言語 英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月	語学条件 TOEFL iBT 88, IELTS 7.0	成績条件 GPA3.0
 アメリカ ノースカロライナ大学シャーロット校 University of North Carolina at Charlotte	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL ITP 500(学内条件) ※ITP 523, iBT 79, IELTS 6.0を推奨	
 アメリカ メリーランド大学カレッジパーク校 University of Maryland, College Park	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 90(各22以上), IELTS 6.5(各6.5以上)	成績条件 GPA3.0
 アメリカ モンタナ大学 University of Montana	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 学部:TOEFL iBT 70, IELTS 6.0 大学院:TOEFL iBT 92, IELTS 6.5 ※Visiting Law StudentはTOEFL iBT 100, IELTS 6.5	
 アメリカ ペンシルバニア州立大学 The Pennsylvania State University	指導言語 英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL iBT 80, IELTS 6.5	

〈北欧〉

 フィンランド アアルト大学 Aalto University	指導言語 フィンランド語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～7月	語学条件 学部ごとに異なるため要確認
 フィンランド オウル大学 University of Oulu	指導言語 フィンランド語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月	語学条件 TOEFL ITP 500(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHPなどで確認してください。
※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内募集は6月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHPなどで確認してください。

※主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

 フィンランド タンペレ工科大学 Tampere University of Technology	指導言語 フィンランド語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
 スウェーデン ウーメオ大学 Umeå University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
 スウェーデン スウェーデン王立工科大学 KTH Royal Institute of Technology	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
 スウェーデン ウプサラ大学 Uppsala University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
 スウェーデン ストックホルム大学 Stockholm University	指導言語 スウェーデン語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月
 スウェーデン チャルマース工科大学 Chalmers University of Technology	指導言語 英語	学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月

〈欧州〉

 イギリス ヨーク大学 The University of York	指導言語 英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月
 イギリス シェフィールド大学 The University of Sheffield	指導言語 英語	学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
 オランダ グローニンゲン大学 University of Groningen	指導言語 オランダ語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 ドイツ アーヘン工科大学 University of Technology Aachen	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～1月 ②4月～7月
 ドイツ ドルトムント工科大学 University of Dortmund	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 ドイツ ゲッティンゲン大学 University of Göttingen	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
 ドイツ ドレスデン工科大学 Dresden University of Technology	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 ドイツ ベルリン工科大学 Technische Universität Berlin	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～6月
 ドイツ ミュンヘン工科大学 Technische Universität München	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに更新される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHPなどで確認してください。
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は6月頃に行う予定です。
 ※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHPなどで確認してください。

 ドイツ ハイデルベルク大学 University of Heidelberg	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月
 ドイツ パダボーン大学 University of Paderborn	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月
 ドイツ ケムニッツ工科大学 Technische Universität Chemnitz	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～3月 ②4月～8月
 フランス ピエール・マリー・キュリー大学 Université Pierre et Marie Curie (Paris VI)	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
 フランス レンヌ第2大学 Université Rennes 2 -Haute-Bretagne	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月
 フランス グルノーブルコンソーシアム グルノーブル第1大学 ジョゼフ・フーリエ Université Joseph Fourier	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
 フランス ストラスブール大学 Université de Strasbourg	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
 フランス レンヌ第1大学 Université Rennes 1	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月
 フランス 国立応用科学院リヨン校 Institut National des Sciences Appliquées de Lyon	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 フランス 国立中央理工科学学校リヨン校 Ecole Centrale de Lyon	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 フランス リヨン高等師範学校 Ecole Normale Supérieure	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月
 フランス リヨン第2大学 Université Lumière Lyon 2	指導言語 フランス語	学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月
 フランス サンティエンヌ国立高等鉱山大学 Ecole National Supérieure des Mines de Saint-Etienne (EMSE)	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～2月 ③3月～9月
 スペイン グラナダ大学 Universidad de Granada	指導言語 スペイン語・(英語)	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
 イタリア フィレンツェ大学 Università degli Studi di Firenze	指導言語 イタリア語・英語	学年暦 ①9月～2月 ③3月～7月

東北大学からの留学
海外研修(SAP)
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部・研究科主催のプログラム
海外体験プログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流

※主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

 イタリア トリノ工科大学 Politecnico di Torino	指導言語 イタリア語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②3月～6月
	語学条件 IELTS5.0(Master of Science in Automotive Engineeringのみ5.5) またはCEFR B1相当の英語、またはB1相当のイタリア語	
 イタリア ミラノ工科大学 Politecnico de Milano	指導言語 イタリア語・英語	学年暦 ①10月～2月 ②3月～6月
	語学条件 要確認	
 オーストリア ウィーン大学 University of Vienna	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①10月～1月 ②3月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当のドイツ語能力(学内条件) ただし、English and American Studies: CEFR B2以上、Faculty of Business, Economics and Statistics CEFR B2以上 または、TOEFL iBT 80, IELTS 6.0以上	
 スイス スイス連邦工科大学 ローザンヌ校 The Swiss Federal Institute of Technology, Lausanne	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当のフランス語能力(学内条件)	
 スイス スイス連邦工科大学 チューリッヒ校 The Swiss Federal Institute of Technology, Zurich	指導言語 ドイツ語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当のドイツ語能力(学内条件) ただし、TOEFL iBT 80 (Spoken min. 18), TOEFL ITP 550, IELTS 5.5以上が強く推奨される	
 スイス ジュネーブ大学 Université de Genève	指導言語 フランス語・英語	学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月
	語学条件 英語:TOEFL ITP 500(学内条件) フランス語:CEFR A2相当のフランス語能力(学内条件) ※Faculty of Psychology and Educational Sciencesのみ、CEFR B2必須。	
 チェコ チェコ工科大学プラハ校 Czech Technical University in Prague	指導言語 英語	学年暦 ①10月～2月 ②2月～6月
	語学条件 CEFR B2相当の英語能力	
 ロシア ノボシビルスク国立大学 Novosibirsk State University	指導言語 ロシア語・英語	学年暦 ①10月～1月 ②2月～6月
	語学条件 要確認	

<アジア・オセアニア>

 タイ アジア工科大学院 Asian Institute of Technology	指導言語 タイ語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
	語学条件 要確認	
 タイ チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	指導言語 タイ語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
	語学条件 TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 79, IELTS 6.0 成績条件 GPA2.75	
 タイ タマサート大学 Thammasat University	指導言語 タイ語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
	語学条件 学部・プログラムにより異なる (TOEFL iBT 80, IELTS 6.5~, TOEFL ITP不可) SEASプログラムには英語の語学要件無し(学内条件であるITP 500点が必要) 成績条件 学部・プログラムにより異なる	
 シンガポール シンガポール国立大学 National University of Singapore	指導言語 英語・(中国語)	学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月
	語学条件 TOEFL ITP 500 (Faculty of LawのみTOEFL iBT 100, IELTS 6.5必要) 成績条件 3.0/5.0	
 インドネシア インドネシア大学 University of Indonesia	指導言語 インドネシア語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL iBT 79, TOEFL ITP 550, IELTS 5.0 成績条件 3.0	
 インドネシア ガジャマダ大学 Gadjah Mada University	指導言語 インドネシア語・英語	学年暦 ①9月～2月 ②2月～7月
	語学条件 TOEFL iBT 61, TOEFL ITP 500, IELTS 5.5 成績条件 3.0	
 インドネシア ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University	指導言語 インドネシア語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
	語学条件 要確認(語学能力を問わないが、留学後インドネシア語のコースの履修が必要)	

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数などについては、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院毎に交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のHPなどで確認してください。
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内応募は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は6月頃に行う予定です。
 ※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はHPなどで確認してください。

 インドネシア ブラウウィジャヤ大学 Brawijaya University	指導言語 インドネシア語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
	語学条件 英語:TOEFL ITP 500(学内条件)	
 マレーシア マラヤ大学 University of Malaya	指導言語 マレーシア語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月
	語学条件 英語:TOEFL ITP 500(学内条件) ※Faculty of Business & AccountancyのコースのみIELTS 6, TOEFL 550が必要 成績条件 3.0/4.0 マレーシア語:要確認	
 韓国 ソウル大学校 Seoul National University	指導言語 韓国語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
	語学条件 CEFR A2相当以上の韓国語能力(学内条件) 成績条件 GPA3.0	
 韓国 高麗大学校 Korea University	指導言語 韓国語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当の韓国語能力(学内条件) 成績条件 GPA2.5/4.0	
 韓国 釜山大学校 Pusan National University	指導言語 韓国語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②3月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当の韓国語能力(学内条件) 韓国語で授業を受ける場合、TOPIK Level 4を推奨	
 ベトナム 貿易大学 Foreign Trade University	指導言語 ベトナム語・英語	学年暦 ①8月～12月 ②1月～6月
	語学条件 TOEFL iBT 65, TOEFL ITP 500, IELTS 5.5(学内条件) 成績条件 2.8/4.0	
 中国 清華大学 Tsinghua University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL ITP 500またはCEFR A2相当の中国語能力(学内条件)	
 中国 北京大学 Peking University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月
	語学条件 中国語で授業を受ける場合、HSK新:6級以上、HSK旧:7級以上。英語で授業を受ける場合は、TOEFL ITP 500(学内条件)。全コース、中国人学生の受入不可	
 中国 復旦大学 Fudan University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②2月～7月
	語学条件 TOEFL iBT 80, TOEFL ITP 550, IELTS 6.0 成績条件 3.0 指導言語が中国語のコース: HSK6(score above 200)	
 中国 上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 ③6月～7月
	語学条件 要確認	
 台湾 国立台湾大学 National Taiwan University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①8月～1月 ②2月～7月
	語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当の中国語能力(学内条件)	
 台湾 国立政治大学 National Chengchi University	指導言語 中国語・英語	学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL iBT 79, IELTS 6.0, 中国語で授業を受けたい場合、TOCFL Superior, CEFR B2, HSK4級相当の中国語能力を推奨 成績条件 GPA2.5	
 オーストラリア シドニー大学 University of Sydney	指導言語 英語	学年暦 ①7月～11月 ②3月～7月
	語学条件 TOEFL iBT 90(Writing 21), IELTS 6.5(各6.0) 成績条件 GPA3.0	
 オーストラリア ニューサウスウェールズ大学 University of South Wales	指導言語 英語	学年暦 ①7月～11月 ②3月～7月
	語学条件 TOEFL iBT 90(Writing 23, Reading・listening・speaking 22), IELTS 6.5(各6.0)	
 オーストラリア メルボルン大学 University of Melbourne	指導言語 英語	学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月
	語学条件 TOEFL iBT 79(Writing21, Speaking18, Reading, listening13), IELTS 6.5(各6.0)又は、CEFR C1相当の英語能力 成績条件 全科目C以上 大学院は学部、プログラムにより異なる	
 ニュージーランド オークランド大学 The University of Auckland	指導言語 英語	学年暦 ①7月～11月 ②3月～7月
	語学条件 学部:TOEFL iBT 80 (Writing 21), IELTS 6.0 (各5.5) 大学院:TOEFL iBT 90 (Writing 21), IELTS 6.5(各6.0)	

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部・研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート



派遣国 韓国
派遣大学 ソウル大学校
開催期間 2015年9月～2016年6月

厳しい状況でこそ、 気が付くものがあります。

見せ付けられる実力の差と学んだ生き抜く方法

まず留学して驚いたことは、韓国の学生の勉強量と能力の高さです。最初のティムプル(グループ発表などのチームでの活動)では、プレゼンの際、他のメンバーのネイティブ並みの英語力の高さとプレゼンの上手さに勝てず、何もさせてはもらえず、役立たずに終わりました。この経験から気がついたことは、能力ではなく自分が何を提供できるかで勝負することの重要性です。能力勝負は上には上がいます。ならば自分が何を提供できるかをきちんと把握し、それにあった土俵を選ぶことが社会で生き抜く方法なのだ、韓国の学生から学びました。私がこの場で優れていることは日本語くらいだと開き直り、別のプレゼンでは、チームで相談して日韓中の文化の比較をテーマに選びました。日本人は私一人だったので、英語で負けていても、世界史と日本史を知っていることと、日本語の文献が読めるという点で貢献ができました。

相手の国を本当に理解しているか

「日本は戦争責任を取ったと思うか」。政治の授業のディスカッションの際に、このような質問をされました。厳しい状況でしたが日本人は私だけだったので、歴史を踏まえながら一つ一つ対応していきました。そのときに気が付いたことは、私は韓国人の考え方や歴史観や韓国の立場を理解してはいなかったということです。その後は嫌われる覚悟で、あえて自らそのような話を学生とするようにして、韓国を理解しようと努めました。その結果、韓国政府の言っていることの意図がつかめるようになりました。また、一般に日本で行われていることは、別の観点から日韓関係を説明できるようになりました。韓国の学生とも、嫌われるどころか、より深い理解を合えるようになりました。異文化理解とはここまで難しく深いものだと、留学前には想像していませんでした。現在「グローバル」という言葉が流行していますが、すぐ隣の国のことについて理解しようとしている人はどのくらいいるのでしょうか。

▶ 滞在先について

滞在先はソウル大学校内の寮でした。基本的に学部生は二人部屋になります。ソウル大学校は非常に広いので、授業を受ける建物の場所によって寮から歩く距離は変わります。他の選択肢としてはホームステイやアパートですが、近くの駅からソウル大学校までバスに行かなくては行けないため、大学内の寮よりは時間がかかってしまいます。滞在先では韓国人のルームメイトに韓国語を教わってもらったり、一緒にチキンを食べたりしました。

文学部
学部4年(留学開始時)
高尾 尚暉さん



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・朝食	授業の予習または発表準備	昼食	授業	友人と授業の話	日本語勉強会で日本語を教える		日本語勉強会のメンバーで食事会と飲み会											就寝



派遣国 アメリカ
派遣大学 パデュー大学
開催期間 2015年8月～2016年5月

異文化の中で 力を発揮できるようになるには？

異国で学ぶという体験

留学を単なる異文化体験ではなく、東北大学では触れられないような専門知識を身につける期間にしたいと考えていたので、より多様な授業を履修できるよう英語圏の大学を選びました。中でも専攻が細かく分かれており、いろいろな分野を学べると思ったのがパデュー大学に決めた理由です。留学一学期目で意識したことは、現地大学で学ぶための基礎力をつけることです。専門科目を履修しながら、ライティングやクリティカルシンキングといった、学ぶ上での技術も身につけていきました。二学期目には全て上級クラスの授業を履修して、自分の専門分野に近い異文化コミュニケーションや社会ネットワーク分析の分野をさらに詳しく学習しました。期末の成果発表はプレゼンテーションやチームプロジェクトの形がほとんどで大変苦労しましたが、それを通じて、現地の学生の中に入って学ぶという経験ができました。

課外活動

課外活動にも力を入れ、特に春学期には大学寮に住む留学生を対象とした学生団体でPeer Educatorとして活動しました。リーダーシップ研修や卒業生との会食に参加する機会は普通の留学生にはなかなかないことだと思うので、貴重な経験になりました。他には日本学生会の活動にも参加し、文化交流イベントだけでなく、キャリアセミナーや会社説明会などの就活関係イベントにも積極的に出席しました。

アメリカ留学の良いところ

交換留学生としての立場を意識せず、他の正規留学生や現地の学生と同様に授業や課外活動に参加することができたことは、アメリカ留学の良い点だと感じました。留学生だからと言って特別扱われるわけではないので要求されるレベルは低くないのですが、その分吸収できるものも多いと思います。パデュー大学はアメリカでも留学生数がトップクラスの大学ですが、ここで他の学生と同じ土俵に立つことができたのは貴重な経験でした。特に言語面では苦労したことが多くありましたが、周りの留学生が現地の学生の中に入って対等に扱われている様子からは、コミュニケーションの取り方や言語バリアをクリアする工夫など、多くを学ぶことができました。また、異文化コミュニケーションの授業を受講しながら海外生活を体験したことも、文化の違いをより深く理解するのに役立ったと思います。日本にいても国際交流活動は可能ですが、異文化の中で自分の力を発揮しなければいけない状況で、試行錯誤しながら解決策を考える力を身につけるには、留学という機会は大いに役立ったと思います。

▶ 滞在先について

キャンパス内に全部で18の寮があり、そのうちのひとつに住んでいました。寮は多くが二人部屋ですが、私は高学年が多く住むシングルルームの寮に滞りました。フロアごとにResident Assistantの学生がおり、定期的にイベントやミーティングが行われます。キッチンがないので自炊はできませんが、キャンパス内5つの食堂で使えるミールプランが寮費に含まれるので、毎日異なるメニューを楽しめます。

文学部
学部3年(留学開始時)
三浦 萌実さん



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・準備	授業	昼食	授業			図書館や食堂で課題					自由時間	夕食		授業準備				就寝

Cooperative Laboratory Study Program Outbound

COLABS (自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム)

参加対象

- ①自然科学系研究科の大学院生
- ②自然科学系研究科に進学見込みの学部4年生
- ③6年生課程の5年生以上(但し、特別プログラムは4年生以上)

自然科学系研究科 | 理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶P37 JASSO奨学金)

セメスター型

1学期から1年間の研究センター型留学プログラム

留学中は、派遣先大学の研究者の指導の下、主に研究活動に従事します。海外での学術経験を積むことができるだけでなく、海外の研究者との人的ネットワークを築くチャンスとなります。COLABSプログラムによる研究成果を基に、海外の一流の学術誌に論文を掲載された学生もいます。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関または部局間協定機関

期間 | 1学期~1年間(最短3ヶ月)

集中型・ワークショップ型

3ヶ月以内の研究センター型留学プログラム

東北大学と学術交流協定を結ぶ海外の大学のみならず、希望する大学に留学できる可能性があります。本プログラムの対象は、COLABSセメスター型と同様です。

集中型

派遣先機関の研究者の指導の下、研究活動に従事します。

ワークショップ型

派遣先機関等で開催されるワークショップや研究会への参加だけでなく、研究活動やフィールドワークなどの調査を行うこともできます。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関、または部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関

期間 | 【集中型】1ヶ月~3ヶ月未満
【ワークショップ型】10日~1ヶ月未満

特別プログラム

長期休業期間を利用した2ヶ月未満の短期留学プログラム

このプログラムでは、派遣先大学の教員から自身の研究結果について指導・助言を受けながら、学術的な場での発表に練成するワークショップを中心に現地学生との交流、企業訪問などを含めた文化交流も行います。

派遣地域・大学 | アメリカ・ワシントン大学

期間 | 2週間

COLABS体験レポート

研究を軸とした留学生活、新たな知識と異文化体験で自らの視野を広めることができました。



工学研究科
博士前期課程1年(留学開始時)

陳偉熙さん

派遣国 | アメリカ
派遣大学 | ミシガン州立大学
留学期間 | 2016年4月~2016年5月

新しいものを知るには新しい環境に飛び込むのが一番

COLABSの特徴は研究活動をサポートする留学プログラムであることです。申請者が自ら希望留学先の先生と交渉する所から始まるため、留学計画の自由度が高い分、本人が主体的に取り仕切る必要があります。しかし、本プログラムから助言や金銭的援助を受けることができるため、留学が始まってからは研究に集中することができました。

私が派遣先として選んだミシガン州立大学の研究室は、非破壊検査の分野で最先端の研究に携わっており、世界各国から優秀な学生が学びに来ています。ここでは、学生たちは共通言語の英語で活発に議論し、本気でそれぞれの研究テーマに取り組んでいました。自分はボーイング社との共同プログラムのテーマを与えられました。最初は新しい知識に戸惑いましたが、同一テーマの先輩学生から丁寧に研究内容を教えてもらったので、しっかり理解して自分のものにすることができました。

留學生活の軸は研究でしたが、自分で時間調整できるので、一日の終わりに買い物で学校外周をサイクリングしたり、週末は周辺都市へ観光しに行ったりして充実した時間を過ごすことができました。留學生活は全てが異文化体験でした。特に現地の人々の生活と関わりのあるスーパーを見るのが一番面白かったです。巨大な肉塊や大量の冷凍食品は想定していましたが、ソフトボール大のマッシュルームや優に50cmを超すオクラを見つけた時は、アメリカは本当に何でも大きいところだなあと驚愕しました。

今回の留学でさまざまな新しい知識と人に出会い、多くを体験しました。約1ヶ月という短い留学期間でしたが、この経験と知識は自分の視野を広げ、一研究者、そして一国際人としても大きく成長することができました。



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床・朝食	登校	研究	研究	昼食	研究	研究	買い物・サイクリング・帰宅	夕食	英語学習・日本での研究関連	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	就寝

実際に体験することで、ただ知るだけでは得られない、実感を伴った理解を。



工学研究科
博士後期課程2年(留学開始時)

田中康基さん

派遣国 | ドイツ
派遣大学 | ケムニッツ工科大学
留学期間 | 2015年9月~2016年2月

古き良きドイツ・ケムニッツでの留學生活

2015年の8月下旬、残暑厳しい日本をあとに、私はドイツ東部のケムニッツへ出発しました。小さな都市ですが、19世紀に繁栄したザクセン王国の面影を残す街並みは美しく、今も古き良きドイツの慣習が残る居心地の良い場所でした。夏季の滞在を勧められることがほとんどですが、冬季にはクリスマス・マーケットがあり、これが本当のクリスマスなのだと感じたのを覚えています。

留学は、自身の裾野を広げるために、最高の体験を与えてくれます。私は研究のため、ほとんどの時間をフラウンホーファーENAS研究所で過ごしましたが、日本とは異なる研究への取り組み方を体験するうち、日本とドイツ、それぞれの得意な面、苦手な面を、実感を伴って理解することができるようになりました。はじめのうちは馴染めない場面もありましたが、相手の立場や考え方について理解を持つことは、語学以上に意思の疎通を助けてくれるものであると気付いたのも、非常に有益な体験でした。



Schedule

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0
起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など	起床・朝食・身支度など

研究所へ登校

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

Double Degree Program

ダブルディグリー(共同教育)プログラム

東北大学と提携校の二つの修士レベルの学位取得を目指すプログラム

本プログラムの提携校はいずれも世界各国からエリートを集めて高度な教育を実施している高等教育機関です。将来世界を舞台に活動するために必要となる実質的な専門知識、研究能力、国際性、異文化対応力の養成が期待できます。

国立中央理工科学学校とのダブルディグリープログラムでは、学部3年次の途中から渡仏し、国立中央理工科学学校における5年間のプログラムのうち1年次および2年次を履修します。帰国後は、本学学部4年次および博士前期の課程2年を経て両校の学位を取得します。

国立応用科学院リヨン校、スウェーデン王立工科大学とのダブルディグリープログラム、および清華大学との共同教育プログラムでは、本学の博士前期課程に進学後に留学し、提携校で授業履修や研究を行います。帰国後は、本学博士前期課程修了に必要な研究などを行った後、両校の学位を取得します。

ダブルディグリー(共同教育)体験レポート

多くの困難に直面する中で数えきれない程の気づきと学びを得ました。



環境科学研究科
博士前期課程1年(留学開始時)
中木戸 涼さん
派遣国 スウェーデン
派遣大学 スウェーデン王立工科大学
留学期間 2014年8月～2016年3月

留学生としてではなく、現地の学生として学ぶ

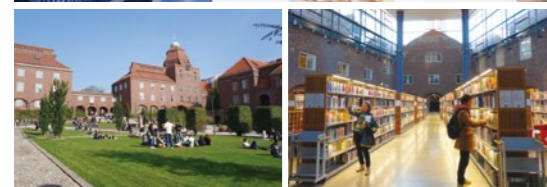
スウェーデンへのダブルディグリープログラムによる留学では、留学生ではあっても基本的には現地の正規学生と同等の卒業要件が課せられます。スウェーデン語の授業が必修という事もあり、授業期間中はかなりの量の課題に追われる日々を送っていました。学部時から専攻を変えたという事もあり苦勞が絶えない日々でしたが、グループワークやセミナーが多用され、議論への積極的な参加が求められる授業は非常に刺激的であり、忙しいながらも密度の濃い充実した時間を過ごす事が出来ました。

自主性が何よりも尊重される修士研究

スウェーデンにおける修士研究では学生の自主性が非常に重視されます。指導教員はあくまでも研究を補佐する立場に徹し、研究テーマの決定から進め方まで、全て学生主導で進めていきます。日本での研究スタイルとの違いに戸惑い、研究開始当初は非常に苦しみましたが、その一方で学生の意思が何よりも尊重されるため、現地に出会った友人と共に交渉を行い、エネルギー関連のスタートアップ企業との共同研究を行わせて貰う等、通常の留学では得ることの出来ない多くの経験を積むことが出来ました。

学位だけではない、ダブルディグリーの価値

1年8ヶ月という長期の滞在を行う中で、自ずと交友関係が広がり、より多様な考え方に触れることとなります。また、スウェーデンでは一年以上の滞在者には社会保障番号が付与され、学生ビザ取得者に対しても多くの面でスウェーデン国籍者と同等の権利が与えられる等、社会との繋がりがより密接になります。多くの考えに触れ、また日本とは異なる社会の一員としての意識を持つことで、より深く、より多様な視点から物事を捉える事が出来るようになった事は今後の人生を考える上での大きな学びとなりました。スウェーデン語必修+現地の正規学生と同様の卒業要件が課される等、乗り越えるべきハードルは高いですが、学位という明確な努力の結果と、1年8ヶ月という長期の滞在中で得られる価値はその努力に十分値するものであると思います。



▶ 滞在先について

大学から地下鉄で5分ほどの地区にある学生寮に滞在していた。居室は単身用でシャワー・トイレが完備され、同じ階に住む12人でキッチンを利用していた。スウェーデンをはじめとして世界各国から集まった学生が居住しており、定期的に寮内で夕食会を開くなど、大学とは異なる交友関係を深める事が出来た。

Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	朝食・登校		授業・グループワーク		昼食		授業・グループワーク		自習		帰宅・夕食		自由時間						就寝

奨学金情報 | 東北大学基金グローバル海外留学奨励賞への応募が可能(▶ P37)

派遣地域・大学

フランス・国立中央理工科学学校(Ecole Centrale)5校
国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)
スウェーデン・スウェーデン王立工科大学
中国・清華大学

期間

1年半程度

参加対象

一部の自然科学系博士前期課程に進学見込みの学部生および博士前期課程の学生
(派遣先により派遣時期、対象学部・学科が異なる)

[各大学の募集時期と応募条件]

国立中央理工科学学校

フランス

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)2年次の10月～12月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分なフランス語力

派遣時期 学部3年次の8月

国立応用科学院リヨン校

フランス

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の10月～12月

語学要件 TCF 350

派遣時期 博士前期課程1年次の8月

スウェーデン王立工科大学

スウェーデン

対象研究科 工学、農学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(工、農)4年次の10月～12月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力

派遣時期 博士前期課程1年次の8月・9月

清華大学

中国

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の10月～11月中旬頃

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力

派遣時期 博士前期課程1年次の8月・9月



▶▶ 大学院生プログラム

Visiting Student Researcher Program

UCB大学院生プログラム

カリフォルニア大学バークレー校(UCB)で、自分の研究テーマに関連のある各研究室へ自発的に働きかけることができます。そこでアドバイザー(指導教員)を探し、交流することで、研究室での研究や論文作成の助言を得ることができます。さらにUCBが本プログラム参加学生に開放する正規授業講義を聴講することもできます。これらの活動を通して、アカデミックスキルや英語運用能力を高めるだけでなく、大学院レベルの若手研究者との交流により、国際的なネットワークを築くこともできます。さらに留学中は、UCBの正規授業を聴講することができます。(単位の取得には別途授業料がかかります)

※平成29年度より希望者は直接UCBに申請を行うことになりました。

奨学金情報 | 東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞への応募が可能(▶P37)

派遣地域・大学	アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校	期間	1学期~1年間
参加対象	全研究科の大学院生、または本学の大学院へ進学見込みの学部4年生		

カリフォルニア大学バークレー校の研究室で、自分の研究を突き詰める!

▶ カリフォルニア大学バークレー校(University of California, Berkeley;UCB)

UCBは、1868年に設立された、10大学から成るカリフォルニア大学システム最古の大学である。各種世界大学ランキングで常に上位の評価を得ており、国際的にも名門大学としてよく知られ、世界中から優秀な学生を受け入れている。現在、約36,200人の学部生および大学院生のうち、約5,500人が留学生である。多くのノーベル賞受賞者やピューリッツァー賞受賞者などを輩出しており、現在8名のノーベル賞受賞者が現役の教員として教鞭をとっている。また、14の学部・研究科および130の学科、80の多分野研究ユニットには、さまざまなバックグラウンドを持つ多くの著名な研究者および学生が所属し、UCBならではの魅力的な学習環境が整っている。

▶▶ UCB大学院生プログラム

思い切って挑戦することで、殻を破ることが出来ました。



工学研究科
博士前期課程1年(留学開始時)
百瀬 樹さん
派遣国 アメリカ
派遣大学 カリフォルニア大学バークレー校
留学期間 2015年9月~2016年2月

世界のトップレベルと競い合った半年間

私は2015年9月から2016年2月まで、VSRPの研究生としてUCBに留学しました。VSRPの特徴は、他の留学プログラムと異なり研究に重点を置いているところです。私は留学の半年前に複数の研究室に直接コンタクトを取り、材料工学科に所属する粉末冶金プロセスの研究室から受け入れ許可を頂きました。幸い留学前に十分な単位を取得出来たこともあり、留学中はほとんど講義を履修せず、毎日朝から晩まで研究室にて実験や解析を行いました。

今回の留学は短い期間でしたが、世界各国から集まるトップレベルの研究者や学生と共に時間を過ごすことで日々大きな刺激を受けました。日本とは異なる年齢やバックグラウンドで区別されないフラットな人間関係の下、毎日活発な議論を重ねる中で語学力のみならず自分の考えを堂々と発信することに対して自信ができました。UCBにはアジア系やラテン系を中心に多数の外国人学生や教職員が在籍していることから、日常生活の中で多様な価値観に触れる機会が自然と多くなり、研究者としてはもちろん一人の人間として大きく成長できる環境が整っています。私自身もUCBで出会った素晴らしい先生方や友人との関わりを通して、全く新しいものの見方を身に付けることができ、改めて帰国後のキャリア形成や人生のものに真剣に向き合う非常に良い機会となりました。皆さんもUCBへの留学を通して一回り成長してみませんか?



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
睡眠	起床	朝食	準備	登校	実験	昼食	研究室ミーティング	実験データの解析	夕食	帰宅	論文作成など								就寝

▶▶ 学部・研究科主催のプログラム

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科が独自に留学プログラムを実施している場合があります。

研究型・課題解決型海外研鑽プログラム

対象者	経済学部学生
募集人数	40名程度
派遣先	部局間協定校
派遣時期	夏季 8~9月、春季 2~3月 各15日間
単位	経済学部専門教育科目「PBLプログラム」(2単位)
問合せ先	経済学部・経済学研究科 国際交流支援室 (▶P38)



理学部「理数学生応援プロジェクト 海外研修プログラム(理数SAP)」

対象者	理数学生応援プロジェクトに登録する理学部2年生
募集人数	20名程度
派遣先	オーストラリア・シドニー大学
派遣時期	2~3月頃(約3週間)
単位	理学部専門教育科目「海外研修」(2単位)
問合せ先	理学部 学部教務係 ☎022-795-6350 ✉sci-kyom@grp.tohoku.ac.jp



医学部「基礎医学修練」

対象者	医学部医学科 3年次学生
募集人数	20~30名程度
派遣先	海外の大学・病院等 ※国内の場合もあり
派遣時期	10~3月頃(配属先分野により異なる)
単位	医学部専門教育科目「基礎医学修練」(10単位)
問合せ先	医学部教務室 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉med-kyo2@grp.tohoku.ac.jp



工学部・工学研究科「学生国際工学研修」

対象者	工学部・工学研究科の学生
募集人数	15名程度
派遣先	海外の学術交流協定校等(年により異なるが、主に欧州)
派遣時期	9月中旬頃(1週間程度)
単位	工学部専門教育科目「国際工学研修」※申請による
問合せ先	工学部・工学研究科 国際交流室 (▶P38)



※ここに紹介するプログラムはあくまで一例であり、また、2016年度の情報です。実施の有無および内容は年度により異なる、または変更する場合があります。※プログラム内容や応募方法などの詳細は、各担当係に直接確認してください。

東北大学からの留学

海外研修(SAP)

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部・研究科主催のプログラム

海外体験プログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休暇期間中に実施する2週間程度以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせました。積極的にこの機会を利用して、海外の学生とのネットワークを広げてください。

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶ P37 JASSO奨学金)

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学	期間	2週間程度以上
参加対象	プログラムにより異なります		
単位	全学教育科目「海外フィールドワーク」(2単位) ※本学で実施する事前・事後研修への参加必須		

海外大学主催プログラム

2016年度実施プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
スカンジナビア研修	フィンランド	オウル大学	2週間	8・9月	スカンジナビアに関する歴史・文化・言語を学ぶ授業、フィールドトリップ、文化体験
サマープログラム2016	タイ	泰日工業大学	2週間	8・9月	英語・日本語で行われる授業、ホームステイ、フィールドトリップ、文化体験

※上記一覧は、前年度実施のプログラムに基づいて記載していますので、変更の可能性があります。これら以外にも、世界中でたくさんのプログラムが開催されています。海外大学主催プログラム募集案内は、所属の教務係で情報収集を行ってください。

ファカルティレッド(FL/教員引率型)プログラム

2017年の春季開始の新しい短期研修プログラムです。テーマに沿った課題解決型の学習・活動を取り入れた研修で、主体的に学習を進めたい人、行動力を身に着けたい人にお勧めです。

2016年度実施プログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
マドリッドで学ぶスペイン語とスペイン文化	スペイン	マドリッド・コンプルテンセ大学	2週間	2月	語学研修、フィールドワーク、現地学生との交流、プレゼンテーション
課題解型のフィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ	ドイツ	パーダーボーン大学 他	2週間	3月	フィールドワーク、歴史・文化・言語を学ぶ授業、現地学生との協働学習
Tohoku University Cross - Cultural Program with Russia	ロシア	ノボシビルスク大学	2週間	3月	ロシア文化学習、語学研修、フィールドトリップ

※上記一覧は、前年度実施のプログラムに基づいて記載していますので、変更の可能性があります。詳細は、5月(夏プログラム)と10月(春プログラム)にグローバルラーニングセンターHPに掲載予定です。

ショートプログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや、大学間学術交流協定校等が、夏や春の本学の長期休業期間中に実施する1~8週間程度の短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものです。

派遣地域・大学	大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学	期間	1~8週間程度
参加対象	プログラムにより異なります		

2016年度募集ショートプログラム例

プログラム名	国名	大学・実施機関名	開催期間	派遣時期	プログラム概要
International Summer School 2016	韓国	釜慶大学校	1週間	夏	言語を学ぶ授業、文化体験、フィールドトリップ
HKUST Summer Camp 2016	中国	香港科技大学	2週間	夏	文化体験、英語を学ぶ授業、ワークショップ

※上記一覧は、前年度実施のプログラムに基づいて記載しておりますので、変更の可能性があります。これら以外にも、世界中でたくさんのプログラムが開催されています。ショートプログラムの募集案内は、グローバルラーニングセンターのHPに随時掲載されます。また所属の教務係でも情報収集を行ってください。

海外体験プログラム参加レポート

▶ Scandinavian Summer Program



文学部
学部2年(留学開始時)
池田 凧沙さん

派遣国 フィンランド
派遣大学 オウル大学
留学期間 2016年8月~2016年9月

驚きと発見がたくさんあった2週間でした。

今まで勉強してきたヨーロッパのメジャーな国の文化・社会・歴史に、少し登場する程度であった北欧のことを現地で学んでみたい!と思い、平成28年8月31日から9月15日までの約2週間、フィンランドのオウル大学でのプログラムに参加しました。座学の社会経済、歴史、フィンランド語の授業のほか、伝統菓子作りや、教員養成学校訪問、歴史博物館の見学、オウランカ自然公園へのフィールドワークなど、非常に濃い2週間を過ごしました。自由時間が多く組まれていたため、チューターさんに街案内をしてもらいつつ交流を深めたりと、コミュニケーションの面でも非常に良い経験ができたと思います。

大学や養成学校では、学生が真剣に、かつ楽しみながら勉強していたのが非常に印象的でした。十分にとられた休憩スペースや、英語、フィンランド語だけでなく多くの言語で書かれた本が充実している図書館、少人数で、かつアドバイザーや、ペアになった学生と密にコミュニケーションをとりながら勉強する姿を見て、かねてから知っていたフィンランドの教育水準の高さを垣間見たような気がしました。

街には、白人、黒人、アジア人と、たくさんの人種の人々が歩いていましたが、街のどこへ行っても誰かが嫌な思いをするような差別もなく、皆が快適に過ごしていたように思います。島国と大陸の差、大学の有無、様々な要因は考えられますが、私はそこに、日本も見習うべき点があると感じました。

授業から街歩きまで、驚きと発見がいっぱいの素晴らしいプログラムだったと思います。



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	
睡眠	起床後、朝食等	バスで移動		授業		昼食		授業(内容は2コマ分)				自由時間・夕食								課題や復習をして就寝

▶ TNIサマープログラム2016



工学部
学部1年(留学開始時)
平田 光明さん

派遣国 タイ
派遣大学 泰日工業大学
留学期間 2016年8月~2016年9月

百聞は一見に如かずです。

このプログラムを通して、私は現地の学生と交流したり、博物館を訪れたり、マングローブの植林をしたり、全国から集まった日本人学生たちと将来について語り合ったり、様々なことを経験してきました。しかし私がここでどれだけ体験談を話そうともこれを読んでいるあなたには微塵も私の感動を伝えることはできないでしょう。なぜか。それはあなたがこの感動を実際には経験していないからです。

私が伝えたいことは、限られた空間の中で満足しないでほしいということです。日本とは異なる言語、異なる文化の環境に包まれることで、私たちが当たり前だと思っていることが当たり前ではないこと、現地の方々と考え方や生活習慣がまるで違うこと、日本という国独自の文化、数えきれないほど多くのことに気づくことができます。これは教科書やネットを読むだけじゃ手に入れることのできない財産です。皆さん、殻を破り、世界に目を向けるチャレンジをしてください。「百聞は一見に如かず」です。



Schedule

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	
睡眠	起床・登校	朝食						アクティビティ&学生交流					夕食		自由時間					就寝

全学生対象のサポート

★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター

▶ P38

★留学アドバイジング

要予約

グローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関するさまざまな疑問に、国際経験豊かなグローバルラーニングセンター教員がお答えします。留学に興味はあるけれど不安がある場合や、海外留学プログラムや留学に関する最新情報を得たい場合など、お気軽にご連絡ください。

実施日 週5日 ※曜日毎に担当教員が異なる

予約方法 希望日の3日前(土日を除く)までにメール送信(詳細はHP参照)

場所 川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター西棟3階 各教員室

曜日	時間帯	アドバイザー	主な担当	メールアドレス
月	11:00~13:00	末松 和子	北米地域	suematsu@insc.tohoku.ac.jp
火	11:00~13:00	高橋 美能	欧州地域(北欧を除く)	mino.takahashi.c3@tohoku.ac.jp
水	11:00~13:00	坂本 友香	北欧地域	yuka.sakamoto.a3@tohoku.ac.jp
木	11:00~13:00	渡部 由紀	アジア・オセアニア地域	メールアドレスは4月以降HPで確認してください
金	12:00~14:00	粕壁 善隆	COLABS	kasukabe@insc.tohoku.ac.jp

▶ アドバイザーからのメッセージ

北米地域担当
末松 和子

アメリカの広大なキャンパスで、最先端の教育・研究に触れ、活発なキャンパスライフを送りたい人にお勧めです。世界共通言語の英語の習得はもちろん、様々な文化背景を持つ人たちと切磋琢磨することで、多様な価値観とコミュニケーション力を身に付けることが出来ます。将来、グローバル社会で活躍したい人、英語を使って仕事をしたい人、北米留学を検討してみてください。なお、東北大学の北米協定校の多くが、TOEFL iBTやIELTSを語学要件にしているため、計画的に準備を進めてください。

欧州地域担当
高橋 美能

※北欧を除く
※2017年5月下旬以降、
坂本先生に相談してください

欧州協定校の学部の授業は、現地の言語で開講される場合が多いですが、ドイツの大学のように、英語で開講される科目がある場合もあります。また、大学院では英語で研究を行うことができる大学も増えてきています。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、IELTSの受験が必須となりますので注意してください。欧州の協定校への留学は、現地の言葉で学びたい人はもちろんのこと、ヨーロッパの国々を旅し、体験したい人、ヨーロッパの価値観を学びたい人にお勧めです。

北欧地域担当
坂本 友香

※2017年5月下旬以降、欧州地域も担当

東北大学は、フィンランドの4大学(アアルト大学、オウル大学、タンペレ工科大学、トゥルク大学)、スウェーデンの5大学(ウーメオ大学、ウプサラ大学、王立工科大学、ストックホルム大学、チャルマース工科大学)と協定を締結しています。北欧の大学の特徴は、英語開講科目が多いこと、ディスカッション、グループワークを通して学生が主体的に学ぶことです。北欧の協定校は、教育や福祉、工学などについて英語で学びたい方、英語が標準的に通じる環境で留学生活を送りたい方にお勧めです。

アジア・
オセアニア地域担当
渡部 由紀

日本の若者の内向き志向が問題視されていますが、アジアで学び、働く日本の若者の数は近年増加傾向にあります。東北大学は巨大な世界の成長センターである中国・インド、ASEAN地域の発展をリードするシンガポール・タイ・インドネシア・ベトナム、日本の中小企業の進出が進むスリランカ、そして東アジアに位置し深い交流関係を築いてきた韓国・台湾・モンゴルに協定校があります。また、地理的にアジアと近く、様々な面で関係性の強いオーストラリアとニュージーランドでは、世界大学ランキングトップ100の4大学と協定を結んでいます。21世紀はアジアの時代と言われています。躍動するアジアで、その国のトップ大学の学生と共に学ぶ留学を是非考えてみてください。

COLABS担当
粕壁 善隆

自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム(COLABS)という研究中心プログラムをご存知ですか。大学院進学が決まった学部学生、大学院生が、研究スケジュールに合わせて研究派遣留学をすることができるプログラムです。COLABSに限らず、大学院国際共同教育での学位取得留学、自然科学系で研究中心の留学を考えている人、特に海外協定校の研究室でワールドクラスの研究者と共同研究し飛躍しようと考えている人は、是非、相談してください。

▶ 留学アドバイジング 体験レポート



文学部
学部4年
関 礼菜さん

留学への第一歩

私は将来英語の教師を目指して、生きた英語を学びたいと思い留学を決意しました。初めは留学に関して分からないことだらけでしたが、アドバイジングに何度か足を運び、各大学を比較したそれぞれの特徴、現地の生活様式、将来を見据えた留学期間など様々な情報を教えていただき、行きたい大学を選ぶにあたりとても参考になりました。ずっと迷っていた一年間の長期留学に踏み出すことができたのも、親身に相談のってくれ、前向きなアドバイスをしてくれた先生方のおかげです。アドバイジングが留学のスタート地点となり、利用して本当に良かったと思っています。

TALK SESSION

留学経験者による留学準備あれこれ

交換留学を経験した5人の学生が、日本での留学準備と留学先で感じた準備の大切さについてパネルディスカッションを行いました。



パネリストプロフィール

- 柏瀬 あすかさん**
経済学部 学部4年
交換留学/国立台湾大学(台湾)
- 工藤 知央さん**
工学部 学部4年
交換留学/スイス連邦工科大学ローザンヌ校(スイス)
- 酒井 祐輔さん**
文学研究科 博士前期課程2年
交換留学/カリフォルニア大学パーカー校(アメリカ)
- 八島 拓也さん**
情報科学研究科 博士前期課程1年
交換留学/カリフォルニア大学アーヴァイン校(アメリカ)
- 米田 佑さん**
教育学部 学部3年
交換留学/オウル大学(フィンランド)

Q そもそもなぜ留学しようと思いましたか?

工藤 中学校入学前に、同年代のアメリカ人の生活が描かれた本を読み、海外の生活ってどういものなんだろうと興味を持ちました。その後、中学校で英語を勉強して、英語しか通じない環境で自分はどこまでやっていけるのか試したいと思いました。それが留学を思い立ったきっかけですね。
柏瀬 私は、勉強に集中できる環境に身を置きたかったので、留学をしました。大学2年生までは、部活やバイトと勉強を両立させて感じていたんですけど、短期留学に参加したことがきっかけでアジアの経済や歴史、そして中国語もしっかり勉強したいと思うようになったんです。そして、それらがしっかり勉強できる環境ってどこだろうって考えたときに、交換留学って選択肢が出てきました。

終了後、学部の授業も一通り受け、研究室に入って研究もしていました。そのため、ある程度いけるだろうと思っていたんですが、留学先へ行くと、自分の専門がいかに脆弱なものかということを知らされたんですね。自分の専門について英語で勉強するのも大事ですが、基礎的な知識を日本に身につけて自分の武器をもっておくことが一番の準備になります。
酒井 勉強の準備も大事なんですが、休暇中に何をするかということを考えておけばよかったなと思います。僕が留学した大学は、自分の専門の英米文学において全米1位だったので、すごくテンションが上がって勉強の準備はしっかりとやっていたんですが、遊びや観光のことを全く調べていなくて。Thanksgiving休暇中は、図書館やレストランも閉まり、友人も実家に帰り、何もすることがなかったんです。

Q どうやって留学先を決めましたか?

工藤 僕は3つの理由から留学先を絞りました。1つ目は、非英語圏であるということです。SAPでスペインに行った際に、英語以外のいろんな言語を学ぶことで自分の世界が広くなると感じました。2つ目は、日本人が少ない環境ということ。3つ目が、東北大よりレベルの高い大学であるということです。せっかく留学するのなら世界トップレベルの大学に行きたくて、調べた結果、自分が興味のある交通インフラをグローバルに事業展開しているスイスへの留学を決めました。

Q 【成功例】留学準備が役立った経験など

柏瀬 私は、奨学金の申請を通して留学計画を明確にしたことがよかったと思っています。留学を研究にどう活かすとか、帰国後にどうやってその経験を還元するか考えました。語学の勉強であれば、あらかじめ検定試験の日程や教科書の冊数とレベルを計算して、「留学中にテキストはここまで終えて、帰国したら検定試験の何級を受験する」という具体的な目標を決めたことがよかったと思っています。
酒井 インターネットを使って準備をしました。僕の専門のイギリス文学は、アメリカ人やイギリス人にとっての国語なので、ネットで検索すると高校生向けの解説サイトがたくさんあります。そのような英文サイトを使って勉強したり、日本語の授業でも英語でノートをとったりしました。ネットで公開されているアメリカの大学の講義映像を使えば、学問分野の基礎知識も身につくし、リスニング力も試せるのでよいと思います。

Q 意外と留学準備で大変だったこと

米田 引っ越しが大変でした。僕は一人暮らしだったので、留学中家はどうするかという問題があったんです。それで、倉庫を借りて、そこに全部家具を持っていき、家は引き払うという選択をしました。僕は7月に引っ越しをしたんですが、時期が夏で試験期間でもあったので大変でした。ちなみに引っ越しは費用が安くすむ業者に頼んだんですが、自分も家具運びと一緒にしたり、海岸沿いにある倉庫まで歩いたり大変でした。
八島 僕は奨学金をもらっていたので、家は引き払わずに留学中も家賃を払い続けるという選択をしました。

Q 留学を目指す学生へのアドバイス

八島 留学先で辛いことがあったら、留学に行こうと思った理由を思い出してください。留学辛いとか、日本へ帰りたいと思った時には、なぜ留学へ行こうと思ったのか思い出すと踏みとどまると思えます。なぜ留学しようと思ったのかということのを大事にしておくといいですね。
米田 交換留学の志望動機を書いた紙を壁に貼っておくとよいと思います。毎朝見るところに。(笑)

Q 【後悔】留学準備/準備不足で後悔したこと

工藤 専門知識の弱さですね。僕が留学したのは4年の7セメスター

東北大学からの留学
海外研修(SAP)
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
海外体験プログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート

▶ 全学生対象のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶ P38


★GCS留学カウンセリング 要予約

交換留学等の留学経験を持つ現役学生、「グローバルキャンパスサポーター(GCS)」が、実際の留学生活や申請方法、留学後の就職活動や進路などの質問・相談にお答えします。

予約方法 **メール送信** ✉ gcs2016counseling@gmail.com

場所 **川内南キャンパス 図書館本館1号館2階グローバル学習室**

▶ GCSカウンセリング 体験レポート



農学部 学部4年
助友 千尋さん

私は大学院での留学を計画していましたが、COLABSと交換留学でどちらのプログラムで行くか迷っていました。そこで、留学経験を持つ学生によるGCS留学カウンセリングを利用し、実際にCOLABSで留学していた先輩に相談することができました。その結果、研究留学の申請方法や研究機関における日本と海外の違いなど、リアルな情報を知ることができました。また、留学のための奨学金申請に関しても、実際にトビタテ!留学JAPANに採用された人の話を聞くことができ、申請書類の書き方のコツを教わったり、書類を添削して頂いたりしました。アドバイスの他、インターネットでは得ることができない選考に関する情報を得られたお陰で審査に合格することができました。

- **東北大学留学フェア ～海外留学応援月間～** 5月
毎年5月を「海外留学応援月間」とし、海外留学や語学学習等に係る各種説明会を連日開催します。
- **海外留学説明会** 5月、10月
グローバルラーニングセンターが主催する各種海外留学プログラムの内容、協定校の最新情報、語学サポート、奨学金情報など、留学や海外研修に必要な情報を得ることができます。また、留学や学内でできる国際交流について、経験者から体験談を聞くことができます。
- **海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)募集説明会** 5月、10月
夏(8・9月)及び春(2・3月)の参加者募集にあわせ、応募受付期間に各プログラムの概要を紹介する説明会を開催します。
- **海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)報告会** 4月、10月
2017年春実施プログラムの参加学生から、イギリス、フランス、アメリカ、カナダ、インドネシア、タイ、台湾、オーストラリア、ニュージーランドで実施された11プログラムについて、体験談を聞くことができます。SAPに興味のある方は、ぜひご参加ください。
日時 **4月19日(水)、4月20日(木)、4月21日(金)各日18:30～20:30**
場所 **グローバルラーニングセンターホームページに掲載予定**
- **交換留学帰国者報告会** 5月、10月
北米、欧州、アジアの交換留学から帰国した学生による報告会です。派遣交換留学に関心のある方は、ご参加ください。



▶ 各学部・研究科のサポート ★…留学相談 ●…説明会など ◆…情報配信

文学部・文学研究科 ✉ ymurakam@m.tohoku.ac.jp

★留学カウンセリング 要予約

留学全般について知りたいことに教職員がお答えします。また、カウンセリングを受けた方を対象に、留学関係書類の添削(推薦状の下書きや志望動機書・研究計画書について、専門分野に立ち入らない範囲で、一般的な添削)を行います。

予約方法 **メールに次の項目を書いて送信** ※携帯メールは受信できない場合があります。
①相談内容概略(正規留学または交換留学、大学院又は学部、期間、国、授業言語) ②氏名 ③学年 ④電話番号

法学部・法学研究科 国際交流支援室 ▶ P38

★留学相談の日 要予約

留学相談を受け付けています。留学先の大学での履修科目に関する情報や、海外での生活に関する疑問を解決したい学生は、是非お越し下さい。

時期 **毎週木曜12:00～14:00(時間外はメールにて要予約)** 予約方法 **メール送信**

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38

● **部局間留学説明会** 春・秋
グローバルラーニングセンター主催東北大学留学フェア(▶P31)実施期間(5月)に1回、秋季に2回留学説明会を開催し、留学を奨励しています。

● **研究型・課題解決型海外研鑽プログラム説明会** 春・秋
大学間や部局間で行われる、短期派遣プログラムの説明会及び留学報告会を行っています。

国際交流オアシス ▶ P38

★留学相談 予約不要
交換留学について、教員・スタッフに相談することができます。

◆ **メール・Facebook・HPでの留学情報発信**
海外留学経験学生によるガイダンス・留学報告会等、最新情報をHPやメールで配信しています。
メール配信登録方法 **Facebookページより申請** <https://www.facebook.com/国際交流OASISInternational-Oasis-1492773230751029/>

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38

★留学相談 予約不要
各種プログラム等による海外留学に関する情報提供・相談を行っています。

医学部・医学系研究科 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

● **海外留学報告会**
医学科3年次対象の基礎医学修練(▶P26)、同6年次対象の高次医学修練によりアメリカ、カナダ、フィリピン等に短期海外留学をした学生による英語での報告会を行っています。

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38

★留学アドバイジング 要予約
留学や海外研修プログラムに関する相談を受け付けています。
予約方法 **国際交流室HPオンライン予約フォームから申し込み又は来室**

● **工学部・工学研究科留学説明会** 6月、11月
留学制度や手続き、大学の選び方、費用、単位互換等、幅広い情報を提供しています。留学体験者による留学生活・体験談の発表もあり、希望者は個別に話を聞くこともできます。

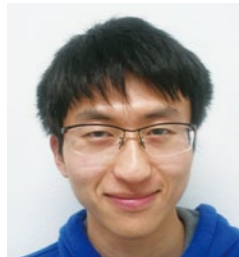
◆ **メール・Facebook情報配信**
留学、国際交流イベントなどに関する最新情報を配信しています。
メール配信登録方法 **メールタイトルを「メールリクエスト加入希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み又は来室** ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス

東北大学からの留学
海外研修(SAP)
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
海外体験プログラム
留学のための各種サポート

TEA Tohoku University English Academy

東北大学ではより積極的に海外留学に挑戦し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、TEA (Tohoku University English Academy)を設置しました。課外英語学習プログラム (TEA's English) や、英語学習アドバイジング、TOEFL iBT、TOEFL ITPなどの英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's Englishでは、Speaking、Writing、Listening、Readingの4技能を向上させ、実践的な英語を身につけることを目的としたTEA's English学期内プログラムと、長期休業期間中に短期で集中的に英語を学習するTEA's English集中プログラムを開講しています。詳細は、グローバルラーニングセンターホームページで確認してください。

TEA's English 体験レポート

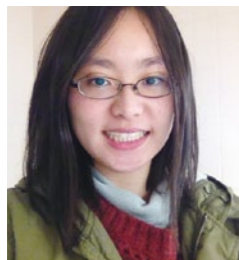


教育学部
学部2年 (プログラム受講時)

川村 昇 さん

学期内プログラム
2016年9月5日～9月16日

私は、TEA's Englishの夏季集中プログラムの受講を通じ、自身の英語力を大きく向上させることができました。プログラムは、午前9:30から午後16:20まで、2週間英語漬けで、最初は正直行くのがかなり辛かったです。ですが、日一日と授業に参加していくにつれ、少しずつ自分の英語力が向上している実感が持て、自信につながりました。プログラム終了後に受けたTOEFL ITPのスコアも、大きく伸ばすことができました。さらに、TEA's Englishの受講を通じ、今までの大学生活では出会うことのなかった、たくさんの人たちと関わることができました。他の参加者は皆、学部、学年、国籍もバラバラで、授業内のディスカッションでは、留学生ならではの意見や、理系ならではの視点に、学ぶことがとても多かったです。このプログラムを通じ、多くのことを学びました。交換留学を目指している方も、単純に英語力を伸ばしたい方も、あまり英語に自信がないという方も、ぜひ参加してみてください。



文学部
学部3年 (プログラム受講時)

木村 麻莉子 さん

集中プログラム
2016年10月24日～2017年1月19日

去年の10月に文部科学省主催の国際会議運営ボランティアに参加しました。この会議には、ヨーロッパやアフリカ、中東など、色々な国から大臣や報道関係者等が参加していたのですが、皆さん英語を話し、英語で会場内について質問をされました。私は、毎週2回TEA's Englishでネイティブスピーカーの先生と会話をし、生きた英語を学んでいたおかげで、自信を持って英語で会場案内をすることが出来ました。TEA's Englishは、本当に役に立ち、受講して良かったと思いました。授業では、エッセイを書いたり、プレゼンテーションをしたり、クラスやオンライン上でディスカッションをしたりします。受講すれば、英語でスムーズに言葉のキャッチボールが出来るようになります。先生は優しく、クラスメートとは海外旅行や留学に関する情報交換をすることが出来、とても満足しています。

TOEFL®テスト

TOEFLスコアは、各種海外留学プログラムや語学学習講座等に応募する際に必要となる場合があります。これらの参加を検討している方はぜひ早めに受験してください。

TOEFL ITP®テスト

1 全学生対象有料受験

対象者 全学生 (非正規生を含む) 受験料 4,490円
申込方法 グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録
実施予定日 年4回:5月24日(水)、8月予定、10月11日(水)、1月11日(木)

2 全学生対象無料受験

対象者 全学生 (非正規生を除く) 受験料 無料 (大学負担)
申込方法 グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録
実施予定日 年1回:7月8日(土)

3 英語授業の一環としての無料受験

対象者 全学教育科目「英語B2」、「英語C2」、「Practical English Skills1・2」受講者 受験料 無料 (大学負担) 申込方法 授業内で案内があります
実施予定日 7月 1日(土) 英語C2(理学部・薬学部の学部2年生)、Practical English Skills1 受講者
11月25日(土) 英語C2(上記外の学部2年生)、Practical English Skills2 受講者
12月 2日(土) 英語B2(学部1年生)受講者

TOEFL iBT®テスト

対象者 全学生 (非正規生を除く) 受験料 235USドル (2017年2月現在) ※予告なく変更となる場合あり
実施予定日 年2回実施予定 申込方法 オンライン登録のうえ受験料納入 (クレジットカードのみ)

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP および TOEICはエデュケーションナル テスティング サービス(ETS)の登録商標です。

TEA's English 英語学習アドバイジング

グローバルラーニングセンター ☎022-795-7820 ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp 🌐www.insc.tohoku.ac.jp ▶P38

英語学習アドバイジング

申込不要

英語力を伸ばすための学習方法アドバイスをELSの講師から個別に受けることができます。詳細はグローバルラーニングセンターHPをご覧ください。
ELS…1961年から北米を中心に多数の学校を運営する実績を持ち、世界中の留学生に多彩なプログラムを提供している語学学校。

Global Café

申込不要

外国人留学生が先生となって教える語学と文化のミニ講座 (2016年度は、英語・フランス語・韓国語など11言語で実施)

開講 授業期間中毎日 場所 2016年度に同じ

教務課

全学教育実施係 ☎022-795-7558 ✉kyom-pec@grp.tohoku.ac.jp

Practical English Course

要申込

英語指導経験が豊かな外国人講師による、プレゼンテーションとディスカッションを中心とした実践的英語力を高めるための課外授業。
※申し込みにはTOEICまたはTOEFL ITPなど一定基準以上のスコアが必要です。

募集 5月～6月頃 開講 10月～11月の土・日曜 (全10回) 1回150分 受講料 未定 対象 全学生 (非正規生を除く)

国際交流オアシス

国際交流支援室(DIEE) ▶P38

Coffee Hour

申込不要

英語・中国語など複数の言語を、ネイティブスピーカーである外国人留学生から直接学ぶ初心者向けのコーヒーセッション。
1週間に2時間ほど、各言語別に集まり、コーヒーを飲みながら会話を中心に学習していきます。

📌 <https://www.facebook.com/CoffeeHour/>

D-project

申込不要

英語を用いたプレゼンテーションと議論のスキルの向上を目的とした上級学習者向けのセッション。外国人留学生と一緒に英語でのディベートとディスカッションを行う。

開講 月1回

工学部・工学研究科

国際交流室(IEED) ▶P38

英語コミュニケーション (INPUT) クラス

要申込

英会話、英語でのコミュニケーションにおいて重要なリスニング力のブラッシュアップを目指すクラスです。工学部の外国人教員が担当し、ディスカッション法や学会会場での雑談およびアカデミックな場面での実践を目指します。数々の国際的な経験をしてきた教員ならではの目線、世界から見た日本、日本人が持つ英語に対する苦手意識改革実現に向け、国際的な舞台で正確に情報を聞き取り理解する力が養われます。

開講 前期:4月～7月、後期:10月～1月 受講料 無料 対象 全学生

英語コミュニケーション (OUTPUT) クラス

要申込

英語ネイティブ講師による、スピーキングに特化した英語コミュニケーションクラスです。会話の始め方や終わり方、相槌、意見の述べ方など、様々な状況下で役立つネイティブ表現、発音矯正を含めたブラッシュアップを目指します。継続して出席することで、着実に英語を使うことへの自信が養われます。

開講 前期:4月～7月、後期:10月～1月 受講料 無料 対象 全学生

学習支援センター (SLAサポート室)

☎022-795-3374 ✉sla-support@grp.tohoku.ac.jp 🌐sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp

SLA de 英会話 ～「英会話カフェ」&「1on1英会話」～

予約不要

留学生・日本人の学生アドバイザー (Student Learning Adviser: エスエルエー) が、気軽に英語に親しむことができる機会を提供。

- 英会話カフェ…複数人で英会話を楽しむタイプの会で、SLAが会をコーディネート
- 1on1英会話…マンツーマンで、利用者のニーズに応じた英会話

対象 主に学部1・2年生 (学部不問) 開講 授業期間中毎日 (時間は学期毎に異なる) 参加費 無料

場所 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟1階 SLAラウンジ

海外からの学生との交流

100の国と地域から約2,160名の外国人留学生在が学ぶキャンパス

海外から多くの研究者や学生を受け入れている東北大学には、海外に行かずとも多文化を体験できる機会があふれています。学内で開催されるさまざまな国際交流行事を通し、外国人留学生などと交流を深めることができます。

グローバルラーニングセンター ▶ P38	
Tohoku University Japanese Program (TUJP) ボランティア 海外の協定校の学部生が参加する日本語サマープログラムにおける、文化交流、地域社会との連携活動 募集 5月頃 窓口 ☎022-795-3745 ✉tujp@grp.tohoku.ac.jp	第1期:2017年7月3日~7月18日 第2期:2017年7月24日~8月8日
文学部・文学研究科 教務係 ☎022-795-6005 ✉art-kyom@grp.tohoku.ac.jp	
文学部サマープログラムサポーター 海外の著名大学からの参加学生(20名程度)のサポーターとして演習や施設見学に同伴	6月~8月
法学部・法学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38	
外国人留学生との交流会 大学院生を対象とした、外国人留学生との交流会。大学院レベルでの研究等に関する意見や情報の交換をすることができます。	不定期
経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38	
国際交流イベント 外国人留学生との国際交流推進イベントと文化体験活動	随時
留学相談デスク 学業や人間関係、異文化適応など留学生のさまざまな相談に応じています。	毎週木曜(10時~13時まで)
理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38	
留学生サポーター 10月に入学する外国人留学生の入学手続き補助等	9月中旬~10月上旬
歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門 ▶ P38	
留学生懇談会 歯学部・歯学研究科で学ぶ世界各国からの外国人留学生在が中心となって企画する学生、教職員等との懇談会	4月下旬、10月下旬
短期受入留学プログラム 海外の協定校から学生を招いて長期休業期間中に実施するショートプログラム(1~8週間程度)の運営補助等	適宜
被災地実地研修プログラム 歯学部・歯学研究科の外国人留学生在および日本人学生を対象とした東日本大震災被災地での実地研修	不定期
工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38	
Tohoku University Engineering Summer Program (TESP) 海外の交流校から学生を招き、2週間のサマープログラムを開催しています。学生交流ボランティアは、参加学生をサポートするとともに、文化体験やフィールドトリップと一緒に参加することができます。詳細は6月頃に工学研究科国際交流室HPおよびフェイスブックで発表します。 申込方法 メールタイトルを「TESPボランティア希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス	7月下旬~8月上旬
国際交流イベント 餃子パーティー、手巻き寿司パーティー等	参加費 500円前後 不定期
国際交流の旅 外国人留学生・研究者などを対象とした東北の隣県または県内への日帰り旅行への同行(英語で各名所や文化の説明)	2月頃
募集 1月下旬 参加費 2,000円以下(昼食代)	
海外訪問団との交流会 海外から学生訪問団が来る際に開催される、昼食会、工場見学や意見交換会などに参加	不定期
国際文化研究科 教務係 ☎022-795-7556 ✉int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp ☎www.intcul.tohoku.ac.jp	
国際文化研究科国際交流の集い 国際交流への理解を深め、国際文化研究科内の交流を促進するための、外国人留学生、日本人学生・教員・職員の交流会	夏~秋頃
募集 適宜(実施日の1ヶ月前頃)	



東北大生による国際交流活動団体

学生が中心となって活動する語学や国際交流に特化した活動団体

グローバルキャンパスサポーター(GCS)

団体概要 交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。グローバルラーニングセンターと協働し、学生の視点でさまざまな留学支援活動・国際交流イベントを実施しています。

活動内容 GCS留学カウンセリング(▶P31)、GCSレターの発行、留学説明会等イベントにおける体験談発表・運営補助 等

☎www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/ 📘www.facebook.com/GCS.tohoku

ESA-net (東北大学交換留学生同窓会)

団体概要 交換留学生同窓会はより多くの東北大学生に交換留学を経験してもらうために、経験者による関連情報の発信を行うことを目的として発足した団体です。留学準備から留学中、帰国後のキャリア支援までに関する情報発信/留学経験者、留学をしようとしている人たちの交流を目的としたイベントの実施/青葉山キャンパスを拠点とした留学相談等

活動内容 Facebookにて留学情報を発信しています。「東北大学交換留学」で検索!
 ✉tohoku.exchange@gmail.com 📘www.facebook.com/tohoku.exchange

留学生支援団体 IPLANET

団体概要 人文・社会科学短期留学生受入プログラム「IPLA」の学生の留生活を支える学生団体です。イベント企画・運営に加え、外国人留學生に対する1年を通じての日常的なサポートが主な役割です。メンバーが主体となってゼロから企画を練り、活動を創り上げています。

活動内容 各種イベント(料理教室、日本文化体験、日帰り旅行、歓迎会、お別れ会等)及びGlobal Café(▶P34)の運営
 一対一で外国人留學生の学習や生活を援助(チューター)
 ✉ipla.tohoku@gmail.com 📘www.facebook.com/iplanet.tohoku/

TUFSA・東北大学留學生協会(Tohoku University Foreign Students Association)

団体概要 東北大学の外国人留學生を中心とする団体で、現在はアジア、ヨーロッパ、南北アメリカ出身の学生から構成されています。その歴史は長く、1965年に設立され、2015年に結成50周年を迎えました。外国人留學生と日本人学生の架け橋となるべく尽力しており、様々な文化に触れたい、多様な価値観を共有したいという方を歓迎します。

活動内容 留學生の勉学や生活面におけるサポート、学内の国際交流推進、市民活動への参加、各種イベントの企画・運営、ニュースレターの配信(東北大学国際祭り、新入生歓迎会、ダンスパーティー、パディプログラム、スポーツ大会、チャリティ活動等)
 ※東北大学国際祭り:一般市民の方々も参加するビッグイベントで、世界各国の伝統料理や伝統舞踊の紹介、異文化体験コーナー等様々な催しを実施しています。5月下旬に川内南キャンパス東北大学百周年記念会館(秋ホール)前広場で開催予定です。

✉tufsacontact@gmail.com ☎www.tufsa.net/ 📘www.facebook.com/tufsafanpage

TUMCA・東北大学イスラム文化協会(Tohoku University Muslim Cultural Association)

団体概要 イスラム文化交流・友好関係の構築を目的として設立された団体です。

活動内容 東北大学国際祭り・せんだい地球フェスタへの出展、アラビア語・英語講座、料理教室の運営

✉president.tumca@gmail.com 📘www.facebook.com/TUMCA

留学生支援サークル @home

団体概要 留學生と日本人学生が交流することのできる架け橋となることを目指し、日々活動している団体です。1ヶ月に2回から3回のイベント運営を行い、メンバー全員で国際交流を楽しんでいます。

活動内容 外国人留學生と日本人が交流できるイベント「International Hour (IH)」の企画、留學生の日本での生活の手伝い、仙台市内の国際交流イベントへの運営参加など

✉athome.web.123@gmail.com ☎www.insc.tohoku.ac.jp/~athome 📘https://www.facebook.com/athome.tohoku/

奨学金情報

東北大学の奨学金

東北大学基金 グローバル海外留学奨励賞

東北大学基金の事業として、海外の協定校などに留学する学業成績が優秀な学生を表彰するとともに奨励金を支給します。

- 支援内容 準備金15万～30万円、奨学金月額6～10万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：4月下旬～5月（7月～12月留学開始）、9月～10月中旬（翌年1月～6月留学開始）
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

国際共同学位取得支援制度（国際共同教育プログラム）

海外大学との大学院レベルにおける国際共同学位（ダブルディグリー、ジョイントディグリーなど）取得を奨励するための支援制度です。

- 支援内容 海外渡航旅費（実費）、奨学金月額10～20万円 ※在籍課程・留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：2～3月、6～7月
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

各部署の独自奨学金

海外留学をする学生を対象に、学部・研究科によっては独自の奨学金や支援金（旅費等）を支給する場合があります。 **問合せ先** 所属学部・研究科

政府・民間団体等の奨学金

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

tobitate.jasso.go.jp/

日本政府と民間企業が協働で取り組む海外留学支援制度は、2020年までに1万人を海外に送り出す計画です。日本再興戦略と産業界からの意向を踏まえて実践的な留学への奨学金を提供しています。派遣留学生は、事前・事後研修や留学中の体験、メンタリングを通じ、海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリストとして育成されます。帰国後は支援企業とともにグローバル人材コミュニティを形成し日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

- 支援内容 留学準備金15万又は25万円、奨学金月額12万円又は16万円 ※留学先地域により異なる
授業料30万円又は60万円 ※支援期間により異なる ※家計の状況により奨学金月額が異なる場合あり
- 募集時期 年2回：7月～10月（翌年4月～10月留学開始）、12月～翌年3月（翌年8月～翌々年3月留学開始）
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に確認
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

日本学生支援機構 海外留学支援制度（JASSO奨学金）

交換留学の推進と国際性を有する人材の育成を目的として、日本学生支援機構（JASSO）が支給する奨学金です。採用者には、留学期間中毎月奨学金が支給されます。奨学金受給者数および対象者は、対象プログラムごとに異なります。

- 支援内容 月額6～10万円（留学先地域により異なる）
 - 対象プログラム 交換留学、海外研修（スタディアブロードプログラム/SAP）、COLABS、海外体験プログラム、一部の部局主催プログラム等 **問合せ先** 留学生課（▶P38）
- ※対象プログラムの参加者のうち、条件を満たす学生に支給するものであり、学生から申請できるものではありません。
※日本学生支援機構の貸与型奨学金「第一種奨学金」および「第二種奨学金」との併給が可能です。

各種奨学金団体などによる奨学金

民間の財団などが、海外留学予定者に支給する奨学金は、特定の留学形態（大学院正規留学、交換留学、インターンシップなど）、国、期間、出身地に限定されている場合があります。応募に大学の推薦が必要な場合があります。大学院に募集案内がある場合は、グローバルラーニングセンターHPIにてお知らせします。

- 過去募集例 ●経団連グローバル人材育成スカラーシップ ●業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生 ●TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム
- 大学宛に募集案内がない場合は、各自で情報収集および応募が必要です。以下サイトなどを参照してください。
海外留学支援サイト ▶ 海外留学のための奨学金 ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム受給学生によるレポート

留学前後のケアも充実！トビタテだから得られる学びがあります。



農学研究科
博士前期課程1年（留学開始時）
尾崎 寛幸 さん

派遣国 **インド**
派遣先 **Corporate Catalyst India Pvt. Ltd.**
留学期間 **2015年9月～2016年2月**



トビタテとインドでのインターンシップ

私は、トビタテを通してインドのコンサルティング会社で半年間のインターンシップを行いました。インターンでは、まったく専門外であったインドの法務、税務、規制のアドバイザリー業務を行い、はじめのうちは仕事で分からないことが多すぎることやインドのカオスな環境に心が折れそうだったのですが、「世界中でトビタテの仲間も様々な挑戦をして、成果を出しているから自分も頑張ろう」と思いながら取組むうちに、責任感のある仕事にやりがいを感じることができるようになりました。トビタテの最大の魅力はコミュニティーにいる仲間です。渡航前研修でお互いの計画をブラッシュアップして、私自身も主活動のインターン以外にもインドのNGO訪問やデリーの農産物市場調査を行い、活動的に過ごすことができました。“自分が「やりたい!!!」と思うことが海外のフィールドにある”という人はトビタテとの相性が最高だと思わずぜひ応募してみてください！

学内の国際交流・留学サポートオフィス

グローバルラーニングセンター・留学生課

- ☎022-795-7820（交換留学他プログラム全般・語学学習および語学試験関係）
- ☎022-795-4818（SAP関係）
- ☎022-795-4817（TGL関係）
- ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.insc.tohoku.ac.jp



法学部・法学研究科 国際交流支援室

- 川内南キャンパス 法学部棟3階
- ☎022-795-3740
- ✉kokusai@law.tohoku.ac.jp
- 🌐www.law.tohoku.ac.jp/global/support/

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE)

- 川内南キャンパス 経済学研究科棟3階
- ☎022-795-7788
- ✉diee-keizai@econ.tohoku.ac.jp
- 🌐www.econ.tohoku.ac.jp/~KKS

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT)

- 北青葉山キャンパス 理学研究科合同A棟3階302号室
- ☎022-795-5829
- ✉direct@mail.sci.tohoku.ac.jp
- 🌐www.sci.tohoku.ac.jp/direct/

医学部・医学系研究科 国際交流支援室

- 星陵キャンパス 医学部1号館4階
- ☎022-718-5091
- ✉int-exchange@med.tohoku.ac.jp
- 🌐www.med.tohoku.ac.jp

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門

- 星陵キャンパス 臨床研究棟1階
- ☎022-717-8278
- ✉international@dent.tohoku.ac.jp
- 🌐www.dent.tohoku.ac.jp/field/liaison/03/index.html

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED)

- 青葉山キャンパス 工学研究科中央棟2階
- ☎022-795-7996
- ✉ieed-eng@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.ied.eng.tohoku.ac.jp

情報科学研究科 国際交流推進室

- 青葉山キャンパス 情報科学研究科棟3階
- ☎022-795-4691
- ✉ilo@is.tohoku.ac.jp
- 🌐www.is.tohoku.ac.jp/introduction/ilo/index.htm

国際交流オアシス

- 文系総合講義棟1階
- ☎022-795-3270
- ✉international-oasis@econ.tohoku.ac.jp

東北大学からの留学
海外研修(SAP)
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
海外体験プログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流

東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGLプログラム)

東北大学の特長である柔軟で強固な「専門基礎力」に加え、国際化する社会において、さまざまな分野でグローバルに活躍するために必須となる「グローバル人材としての能力」(語学力・コミュニケーション力、国際教養力、行動力)をバランスよく身につけることを目指した**学部学生対象の登録制**プログラムです。



TGLプログラムでグローバルリーダーの認定を目指す場合は、必ず一度は海外研鑽の経験が必要です。本ガイドブック内に掲載されている海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)をはじめとした海外留学プログラムの多くが、TGLポイントの対象となっており、一部のプログラムではTGL学生が選考の際に優先される可能性があります。そのため、なるべく早い段階でのTGL登録をお勧めします。

詳しくは

TGLプログラムパンフレット ▶

およびグローバルラーニングセンターHPを
参照してください。



東北大学グローバルラーニングセンター

(教育・学生支援部留学生課)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41

☎022-795-7820 ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp

www.insc.tohoku.ac.jp